

71-5 506

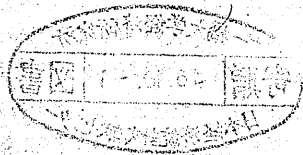
D42H1

100

3

# 国民所得推計研究会資料(18)

[注意] この資料のうち、『長期経済統計』(東洋経済新報社)等に  
公刊されたもの以外のもつを使用して公けにするには、  
前以て原著者の了解を得ることが必要である。



資料番号	資料名	氏名	資料番号	資料名	氏名
A-1	産業規模・男女及び年齢別 取工一人一日当り賃金(明治42年及大正3年)	梅村・中村	B-29	コモテテ・フロー法による非耐久財消費支出の推計(その二)	篠原
① 2	社史文献目録	江見		-「食料バランス・シート」による追加商社委託加工生産、雑貨類出荷額の補正-	
3	産業別男女別取工一人一日当り賃金(大正8年~昭和3年)	梅村・中村	⑥ 30	米部 貨幣の流通速度の推計(付当座預金払戻高と国民所得の比較)(戦前編)	伊東
B-1	商業マージン率資料	山田(克)	31	米部 全上(全上)(戦前編)	伊東
2	有業人口(1872-1920)の推計(I) 農業人口	大川	32	民間貯蓄の推計 -金融統計からの接近-	江見
3	資本係数の諸推計	伊東	33	「日本の資本形成」の推計 -構成要素別-	江見
4	戦後消費支出の推計(その一) 電信電話郵便交通費	野田	34	国民総生産の長期推計(昭和1年-32年)	川上外
5	法人在庫の推計について(No.1)	倉林		(参考)戦前の国民総支出(大正15年-昭和4年、ホ-次試算)	
6	戦前貨物運賃の推計(その一)	赤坂	⑦	(一)昭和15年度より昭和19年度に至る国民所得推計	
② 7	有業人口(1872-1920)の推計(II) 漁業、商業、工業人口	大川		(二)昭和14年度より昭和17年度に至る資金統計	
8	戦後設備投資の推計(その一)	篠原	35	財政支出の推計方法について(予備的覚え書)	堀野谷
9	法人在庫の推計について(No.2)	倉林	36	明治初期から第二次大戦迄の通算生計費指数(1879年~1938年)	山田(三)
10	1952-1955商業統計による消費支出の推計(根拠費・飲食費)	赤坂	37	戦前貿易指数(品目編)	山田(克)
11	小売評価法による戦後に因る消費推計	野田	38	鉱工業雇用関係資料とその推計	佐野
12	戦前建設統計資料集(その一)	江見	⑧ 39	昭和5年-19年勤労所得の推計(製造業)	川上
③ 13	戦前生計費指数のホ-次試算(1872-1922)	山田(三)	40	Capital Formation in Postwar Japan	篠原
14	綿糸紡績業に於る資本蓄積(1886-1957)	川島	41	The pattern of Japanese Long-Term Economic Growth	大川
15	両大戦間 GNP フレ-ター-試算	川勝	42	1-ルツェルによる国民所得計算の方法と向題	倉林
16	コモテテ・フロー法による戦前建設投資・設備投資の推計(その二)	篠原			
17	両大戦間 GNE 系列の海外経常余剰実質化因子試算	川勝			
18	両大戦間生計費指数(東京)試算・資料集	安藤	C-1	明治31年~大正8年 男女・年齢別人口の推計(改算結果)	赤坂
19	25-30年度生産国民所得の改訂と総生産の推計(I) 農業	川上	2	金融機関関係基礎資料 米部 銀行編 1900-1940	伊東
④ 20	全上 (II) 水産業	川上	⑨	-資本金・貸出・有価証券・預金・資産総額附録 1930-1959-	
21	25-30年生産国民所得と総生産の推計(改訂) (VI) 製造業	先崎	2A	労働人口及就業者 1950-1958	梅村
22	30-31年の生産所得と総生産額 IV 鉱業 V 建設業 VI 公益事業	先崎		-季節調整系列、趨勢値、循環変動指数-	
23	両大戦間の投資財フレ-ター-について(ホ-次試算)	先崎	3Bc	労働力率、産業及び従業上の地位別就業者	梅村
24	両大戦間生計費(東京)指数試算・資料集(改算)	安藤		-季節調整系列、趨勢値、循環変動指数-	
25	戦前貿易指数(総括編)	山田(克)	4	農村生活水準の測定	
26	明治31年~大正8年 男女・年齢別人口の推計	赤坂	5	昭和2-5年農業経済調査個票再集計結果表	山田(三)
27	国民貯蓄の推計(総括S2)	江見	⑩ 6	日本勧業銀行、興工銀行、拓殖銀行産業別貸出額	藤野・H.徳
⑤ 28	コモテテ・フロー法による非耐久財消費支出の推計(その一)	篠原	7	コモテテ・フロー法による1914-1936年資本形成 米部推計資料	篠原
	-工業統計表を中心とした輸出入特長、マ-ジン運賃の調整過程-		8	農商務統計表による産業別動力	梅村・南
			9	農業指数修正推計 1880~1940	山田(三)

資料番号	資料名	氏名	資料番号	資料名	氏名
C-10	明治7年製造業生産額	梅村	D-23	私鉄生産所得の推計 (1882-1960)	南
(11)	農商務統計表による賃工数・賃金	梅村	24	公鉄生産所得の推計 (1872-1960)	全上
12	昭和5年不労調査による府県・男女・年齢階級別就業率	赤坂	(17) 25	耕地面積の推計 (1883-1944)	速水、山田(三)
13	大正9年 全 上	赤坂	26	農業流動資本投下量の推計	速水
14	府県統計表による工業生産の推計 I 明治22-24年	梅村	27	戦前の日本における資本ストックの推計 (1868-1940)	石渡
15	製造業従業者数の推計 1919-1942年	赤坂	28	明治期における流通段階別・地域別物価差	野田
(12)	16 林業産出高の推計 1879-1958年	熊崎	(18) 29	農業生産額の推計 (1874-1961)	山田(三)
17	水産本業従業者数の推計 1872-1940年	赤坂	30	戦前鉄道ストックの推計 国鉄編 (1870-1936)	先崎
18	男女年齢別人口の推計 1872-1878; 総児童 就学不就学 1878-1900年	赤坂	31	民間建築投資の推計 その1 住宅, 商業	江見・石
19	製造業従業者数の推計 1899-1918	赤坂	(19) 32	製糸業における所得・所得率及労働の相対的分け前 1873-1942	小野
			33	民間建築投資の推計 その2 工業	江見・石
D-1	1881-1938 綿糸紡績業における固定設備の推計 (14 図表)	藤野			
2	農業資本の推計	山田(三)	E-1	454入の実質国民所得推計における生産物法 (Production Method) の適用 10-117	宇藤 洋
3	建築業従業者の賃金と小売物価指数の推計 1716-1958	梅村	-2	昭和18年 国家資金計画に関する参考資料	大蔵省大臣官房調査課
(13)	4 1909-1940年間に於ける食料消費支出の推計 I 推計過程の説明	篠原	-3	昭和21-33年 漁業投資額の推計試算 (水産調査年報 No. 55)	水産庁調査研究部調査資料
5	全 上 II 統計編 (その1)	全上	-4	Preliminary Summary Tables Functional Classification of Meiji Central Government Expenditures by Economic Type.	H. 大島
6	全 上 III 統計編 (その2)	全上	(20) -5	Capital Accumulation and Economic Growth	カニトフ
7	財政収支の推計 - 中央政府編 I - 1915, 1920, 1925, 1930, 1935	塩野谷	-6	Preliminary Summary Table: Functional Classification of Choson Table for all Prefectures (for Meiji 13, 22, 33 and 43 nen).	H. 大島
8	全 上 - 中央政府編 II - 全 上	全上	-7	昭和5-19年 生産と所得推計の検討	企画庁経済研究所 所長特別資料
(14)	9 製造業従業者数の推計 - 明治42年~昭和17年	佐野	-8	明治以降 内地農産物輸出入額 (台湾・朝鮮移出入額調整済)	野田
10	An Approach to the Measurement of National Saving in Japan. (1898~1940)	江見	-9	本邦生産数量指数 (1921=25年=100) 1868-1936	名古屋高商
11	才1回 個別推計の総合化	大川・赤坂			
12	農家戸数の推計 (1880-1940年)	山田(三)			
(15)	13 1877-1940 貨幣量・マニラ紙・預金回転率の推計 I	藤野			
14	全 上 II	全上			
15	綿紡績専用綿織物生産額の推計 1898-1938	全上			
16	1900-1940 男女年齢別就業率の推計	赤坂			
17	肥料の生産・消費推計 (1887-1941, 1951-1959)	速水			
(16)	18 明治以降 財政収支の推計 1868-1938	江見・高松			
19	電気事業の所得推計 (1887-1941)	南			
20	Interim Report on Estimation of Long-Run Capital Stock Series in prewar Japan	石渡			
21	才2回 個別推計の総合化	大川・赤坂			
22	電気料金指数の推計 (1907-1960) 試算	南			

資料 D30

戦前鉄道資本ストックの推計

1870—1936

国鉄編

先崎久雄

目 次

0 推計要領 (まえがき) ----- 1~5

I 推計結果表

図1-1 資本ストック、グロス及ネット 1870-1936年 ----- 1

図1-2 資本形成(フロー) 1870-1936年 ----- 2

表1-1 項目別資本ストック、グロス(1930年価格) 1870-1936年 --- 3~4

表1-2 項目別資本ストック、ネット(1930年価格) 1870-1936年 --- 5~6

表1-3 項目別資本支出額、フロー(時価) 1870-1936年 --- 7~8

表1-4 項目別資本支出額、フロー(1930年価格) 1870-1936年 --- 9~10

表1-5 テブレード 1870-1936年 ----- 11

II 原資料

表2-1 資本勘定支出決算額 1926-36年 ----- 12

表2-2 鉄道建設費(除総係費)支出決算額 1926-36年 ----- 13

表2-3 国鉄「補充費」決算額内訳 1926-36年及1910-12年 ----- 14

表2-4 資本勘定支出決算額 1916-25年 ----- 15

表2-5 建設工事費内訳集計結果表 ----- 16

表2-6 1890年-1906年「建設費細別表」-官設(年度末ストック)  
(箇目割振調整済) ----- 17

表2-7 1891年-1906年「建設費細別表」-官設(年度間フロー表) ----- 18

表2-8 国鉄建設費関係、決算額 1907-15年、1901-06年、1886-1900年 --- 19

表2-9 国鉄建設費決算高、年度調整 1870-1885年 ----- 20

III 推計作業の資料

表3-1 耐用年数別、項目別、建設費目割振表 ----- 21

表3-2 国鉄「建設費+改良費+補充費」(合計)の構成比較 ----- 22

表3-3 国鉄「建設費」<sup>1)</sup>内訳比較 ----- 23

表3-4 国鉄「建設費」内訳推計作業資料(構成比) 1906-1926年 --- 24

表3-5 「改良費」内訳推計 1916-25年 ----- 25

表3-6 「改良費」内訳推計用構成比 1907-15年 ----- 26

表3-7 国鉄「補充費」内訳比較及推計資料 ----- 26

表3-8 国鉄「補充費」内訳推計(構成比) 1907-09年、1913-25年 --- 27

表3-9 建設、改良、補充費 推計結果 1907-25年 ----- 28-32

表3-10 国鉄、建設費内訳推計結果 1870-90年 ----- 33-34

IV その他の資料

表4-1 国鉄に買収された私鉄の建設費、買収額等(明治29、40年) --- 35

表4-2 国鉄に買収された私鉄 1908-1936年 ----- 36

表4-3 買収された私鉄の建設費、ストック表 1895-1906年 ----- 37

## 戦前の国有鉄道資本ストック推計作業ノート

### I 作業の要旨

1. わが国の資本ストックの長期系列をできるだけ遡つて推計する試みの概要、<sup>1)</sup> および1930年を基準とする戦前系列の第1次試算についてはすでに中間報告が行われている(資料D27)。しかしこの作業はかなり大まかなもので、とくに資産項目のうちでは建物、産業のうちでは水産業、鉱業、公益事業、運輸通信、サービス業などについての推計はきわめて不備で、さらに掘り下げた基礎データの開発、推計方法の改善などが必要である。この報告は、そのような改善作業の手始めとして、比較的データに恵れている鉄道、とくに国鉄の資本ストックの推計作業を一まづ取りまとめたものである。なお地方鉄道(私鉄ないし軽便鉄道)および軌道についての作業は、資料上のブランク期間が多いため、一応差し控えている。

注1) "On the Problems Involved in an Attempt to Estimate Long-run Series of Capital Stocks"

by H. MASSAKI, Aug. 1962 参照

2. 推計期間は、鉄道建設の開始された1870(M3年) — ただし東京〜横浜間の開業はM5年 — 以降、戦前の1936(S11年)まで、原則として会計年度(4〜3月)による。
3. 算定方法 原則としてパーペチュアル・インベントリー法である。すなわち、資産項目別の各年の資本支出を基準年度(1930年)価格に表示し、耐用年数間累積したストック額(グロス)、およびそれから直線法減価償却により償却額を控

除したストック額(ネット)を算出する。

4. 資本の概念及び範囲 原則として有形固定資産に限定され、在庫ストックの推計は未検当。ただし、本作業では基礎資料の性格上、国鉄の資本勘定上の決算ベースによる。

かつ資産のカバレッジも若干限定される、例えばレール・枕木等の交換費、保守用工具などは経常勘定の"保存費"に、鉄道車両以外の車両(本庁や駅の自動車、運搬車など)および器具、備品、什器などの購入は関係"経常勘定"で処理され、資本勘定には含められない(ただし戦前について)点に留意せねばならない。この調整は行わなかつたが、他方で資本勘定に含まれる「用地費」(移転手当などを含むが、整地費は"土工費"に含まれる)あるいは「補償費」は可能な限り、資本概念から除外した(表3-1参照)。

### II 各年の費目別資本支出額(フロー)

1. 基礎資料 主として各年の鉄道省(院、局、庁)「鉄道統計資料」(1906〜15年間は「鉄道統計図表」)および「鉄道省(院、局、庁)年報」。ただし、1889年(M22)以前は同様な資料(1890年には「鉄道庁年報」)が存在したか否か確められていない。1885(M18)年以前には、「工部省沿革史」から建設費支出総額がえられるのみである(表2-9)。
2. 資本支出科目 国鉄会計用語によれば当面の関係科目は「建設費」「改良費」「補充費」の3つである。「建設費」とは新線の開設(創設)に要した費用だけであり、それ以後既設線の改良、増設(複線化、電化、駅の新・増設、ホー

△の増設、車両の改良 etc. etc.) に要した費用はすべて「改良費」をいし「補充費」と称されることに注意せねばならない。このうち「改良費」と「補充費」の間の区別は判然としないが、一応、前者はかなり大規模な改良工事、後者は小規模のそれをさすと考えてよい。<sup>1)</sup>

ただし、いづれの科目にも、車両・船舶・自動車・工場・病院費などが含まれている。

注 1) 既存の旧式駅舎を取りこわして、新築する場合も含む。補充費の工事には、駅舎の改築・大修理、ホームの延長、ホームの屋根の新・増設、踏切の拡張・新設、引込線の延長、橋の新・増設、通信・信号設備などの補充、etc. etc.

3. 資料の availability 「鉄道統計資料」は昭和期になるとかなり詳細となり、推計上の困難は比較的少ないが、それ以前は資本支出の費目別内訳にはかなり大胆な推計作業が必要である。後述する費目の割振により直ちに作業を進められるのは次の期間に限られる。

建設費 1926～36 (表2-1.2)  
改良費 1916～36 (表2-1.2-4.一部推計)  
補充費 1926～36及び1910～12 (表2-3)

なお、国鉄会計では、鉄道資産を「永久資産」として扱い、減価償却および価格変動の調整を一切行わず、費目毎の建設関係費を年々単純に累計して「固定資産内訳表」をいし「建設費細別表」として表示する方式がとられていた。しかし1906/07 (M.39, 40)年の大量の私鉄買収を境に、この方式は廃止された。本推計では「鉄道局(庁)年報」が得られる1890～1906年間について、このストック資料を利用して、各年のストックの増分をもつて

フロー統計に代えた。

4. 費目の資産別割振 鉄道会計の資本支出は独自のいくつかの費目(土工費、墜道費、停車場費、etc. etc.表2-1-7をみよ)に分割されている。これらの費目分類は資産項目別の詳細なストックの推計には甚だ不満足であるが(とくに軌道費、諸建物など)、それ以上の細目は容易に得られない。かつ、「改良費」の分類は「線路増設費」「電化費」など、かなり総括的な費目が多い点も難点である。主として資産の耐用年数の相違を考慮して、これらの費目を一応表3-1のように分類整理した。若干の注を加えれば、「線路改良費」にはレールの交換が含まれるから、「線路増設費」(主に複線工事)、「線路改築費」(大規模な軌道改良工事)とは別建とした。電化、通信、信号、保等関係の支出は大正から昭和年代に急上昇するが、年により多様な名称が用いられているので、これを一括した。

「共通費」は総係費、運賃、電気代などデフレターや耐用年数の決定しがたい費目を一括した。なお「復興費」は1923～30(T12～S4)年の間、関東大震災の復旧工事関係の支出であるので、一応別建とした。(なおこれ以外に「災害復旧費」に当る支出費目はなく、おそらく「改良費」一般に含まれていると考えられる。)また前述したごとく、「用地費」「補償費」は資本概念の枠外としたが、なお「改良費」に含まれる用地費の大半は分離不可能である。

5. 費目内訳の推計方法 各年の資本支出の費目別内訳がえられない期間は、次のように構成比の補間、延長、遡旧などの方法によつて推計せざるをえない。なお1926～28年「建設・改良・補充費」の合計と、それ以前に資料がえられる1904～06年及び1891, 92, 93年間の同様の計(ストックの増分)の資産の構成比を比較してみると、必ずしも安定した傾向がみ

られないから(表3-2参照)、1907~25年間、3つの科目を全体として扱わず、建設費、改良費、補充費を別個に推計した。

イ)「建設費」1907~1925 大正年間は建設費の内訳は直接えられないが、一部の年の、「建設工事成績表」には、一年ないし数年に亘る工事の予算額(ないし請負額)と“前年度までの進捗”“今年度中の進捗”の歩合が一筆ごとに詳しく記録されているから、これを用いて、1915年と1921年について、

$(\text{予算額}) \times (\text{今年の進捗歩合}) = (\text{今年の工事額})$ として算出して、費目ごとに積み上げる作業を行った(結果は表2-5)。これらの年の費目別内訳の構成比などから、次の補間推計を行った(表3-4)。

1922~25年の推計に1921/26両年の構成比の平均
1916~20年   "   1915/21   "   "   "
1907~14年   "   1906/15   "   "   "

ロ)「改良費」1921~25年 「建造物」改良費は、内容からみて停車場と建物が含まれるようであるから、1926~28年間の両者の構成比(87.6%と12.4%)で按分した(表3-5)。

「改良費」1916~20年 「線路及び建造物費」を、1921~23年間の構成比により、「線路増設費」4.12%、「線路改良費」15.3%「停車場費」3.80%、「諸建物費」5.5%(計10.0%)に按分した。(表3-5)。

「改良費」1907~15年 この間はその総額しかえられないから、1906と1916の両年の構成比の直線補間によつて推計した(表3-6)それはこの期間前後にかけて、電気費、車両費などの比率の上昇傾向と、線路増設費、停車場費などの相対的低下傾向がみられるからである。

ハ)「補充費」1913~1925及び1907~1909年

補充費については昭和年代以前には、1910~12年の3年間のみしか内訳が報告されていないから、この空白期間は1926~28年計と1910~12年計のそれぞれの構成比の直線補間によつて推計した。ただし表3-7に示すごとく、この期間前後にかけて明白に比率の上昇する電気・通信関係費、器具費、車両費、その他の資本形成(船舶・自動車など)や、逆に低下傾向を示す用地費などについては直線補間、他の項目については両期間構成比の単純平均の2つのやり方を併用した(結果として用いた構成比は表3-8)。なお1907~09年間については、1910~12年の比率(表3-7)を準用した。

ニ)「建設費(含改良・補充費)」1891~1906年 この期間については、前述したごとく、累積した「建設費細別表」というストック・データがえられるが、フロー・データはえられない。そこで各年度末のストック表(表2-6)から年々の増分を単純に算出してフローに代えた。ただし国鉄の固定資本勘定には、毎年、譲受・寄付による土地・建物・工事などの増加額と、払下・譲渡・焼失、改良工事などのための除却による減失額とが記載されている。しかし、この資料はストックの増分として算出された数字に調整を加えるにはあまりにも総括的すぎるし、その絶対額もごくわずかであるから、資料のえられる1900~06年の土地、建物以外、この調整は加えていない(表2-7)。

「同上」1870~1890年 この間については資料が全く欠除して、僅かにその総額しかえられない。1870~85年間の工部省の支出額はまだ鉄道会計規則が制定される以前のものであるが、関係費目として一応“通常経費”中の「線路測量費」及び“興業費”のなかの「鉄道建築費」をとり、



かつ一定していない会計年度を調整統一した(表2-9)。

かくてえられた各年の支出額に、便法として、1890年の資本ストックの資産構成比を一律に乗じて、各年の項目別内訳とした(表3-10)。

以上からえられた大正及び明治年間の推計結果の実数は、表3-9、10にとりまとめられている。なお昭和年次の資産項目別支出額はほとんど費目の割振作業を要するにすぎない。結果は表1-3に示されている。

### III 耐用年数の決定

表3-1のように約15種に総括された資産(ないし費目)ごとに適切な耐用年数を決定することもかなり困難な問題で、どうしても恣意性はまぬかれえない。参照されたのは昭和30年の国富調査報告書才6巻に引用されている「鉄道及び軌道の資産分類とその耐用年数表」である。しかしこの表ですら、例えば建物でも鉄筋コンクリ、鉄骨、練瓦、ブロック、木造等々の構造別、さらにその用途別(停車場、車庫、庁舎等々)に分類されているが、当面の作業では諸建物は1本に一括されている。従つて、その中からウェイトの高いと思われる構造・用途の建物などを中心にして、ある程度恣意的な決定を下さねばならない。本作業では例えば建物では鉄筋・鉄骨の40~75年と、木造の20~30年を考慮して、一応40年としてみた。他の資産の耐用年数を決めるにも同様な事情が多かれ少かれつきまとつている。「土工」はこの資料の通り70年、橋梁は大半高架鉄筋コンクリとみて50年、溝橋40年と伏樋30年の加重平均から両者合して37年とした。軌道費には問題が残る、一方で砂利は70年とされているが、枕木、レール、転てつ器等は15年とされている。しかし前述したごとく、鉄道会計法ではレール・枕木の交換は大半が経常費で処理されるという事情を考えて、「軌道費」の耐用年数を一応60年とみた。

停車場は大体25~30年、一部に55年とされているところから、全体として30年と決めた。器械場は一部に20年前後の機械部分と他方に30~60年の建物などが含まれるから、一括して30年とした。また、柵、防雪・波などの「軌道施設」(15年)、レール(15年)、器具・用具(10年)もほぼ同規則の規定に従つた。電気・通信・信号・保安関係の設備には多種類の資産が含まれ、一方で鉄塔コンクリート柱等45年、送電線等40年、信号線、信号機・架線・電力線など30年、閉そく機、保安装置・変圧器・木柱など25年、電車線20年、電話機など15年などが混在しているので、合して一応30年とみなした。なお「線路改良費」は複線化工事などに比して比較的小規模の工事が対象とされ、一方で土工・砂利のように60~70年から、地方で軌道施設、レール交換の15年の耐用年数の資産などが含まれ、概して後者のウェイトがかなり高いため、一応30年とみた。

最後に「共通費」については、他の資産項目の平均耐用年数の間持続する性質のもと考えた。そこで他の項目の加重平均年数を求めると、1904~06年で54.6年、1926~28年で45.4年という値がえられた。電化工事などの改良工事の比重が高まるにつれ、全体として鉄道資産の耐用年数は漸減傾向にあるが、ここでは一応全期間を通じて平均50年とみなすことにした。

### IV デフレーター

Perpetual inventory 法による資本ストックの推計には資産種類別の適切なデフレータの利用可能性が重要な意味をもつが、当面の作業ではそこまで手が廻らず、昭和30年の国富調査の資料を借用するに止つた。すなわち、同報告書才6巻「調査の方法について」には「鉄道軌道用」の物価倍率が示されているが、それは国鉄建設部からえられた新線一杆当り建設原単位をもとにし

て作成された“原価倍率”である。しかしこの中に反映されている主要資材は鋼材、銅、セメント、木材などにすぎず、とくに資本支出に含まれている電化・通信・信号・保安費・器械場費（国鉄所有の修理工場などの機械と建物）、停車場費などのデフレートには適切でないかもしれない。しかし、本作業で分類した構築物10種類（A-1～10）にそれぞれ適切なデフレータの作成は早急に望むべくもないから、建物、建築用具を除いてこの国富調査の鉄道構築物デフレータ1本を画一的に利用せざるをえなかつた。なお建物については、その大半が木造とみて木造建築物の倍率を、建築用具については器具備品の倍率を借用した。最後に「共通費」のデフレートには概念上・資料上の難点が多いが、一応他の資産項目の物価変動の加重平均を用いた。ウェイトは1926～28年および1904～06年における車両費を含む建設関係費（フロー額）の構成比を検討したら殆んど同様な結果がえられた（表3-2参照）ので、構築物70.0%、諸建物4.0%、機械・器具26.0%とした。

#### V その他一買収線の問題

国鉄資本ストックの推計作業上、重要な問題として、私鉄の買収の調整が残されている。1870年の創設以来、初めて大規模な私鉄（17鉄道）の買収が1906/07（M39、40）年に行なわれた。その後買収は暫らく中断されたが、1917（T6）年に横浜鉄道などが買収されてから、再び殆んど毎年のように小規模ながら行なわれてきた。これら買収線の延長、買収額、建築費などについては表4-1、2に取りまとめた。この際当然のことながら、買収線の元々の建設費（各年の建設費の単純累計）と国鉄の買収価格とは大幅に相違するから、たとえ私鉄被買収線の建設費累年統計がえられても、この両者の調整は困難である。しかしわれわれの推計作業の方針からいえば、買収線

もその線の創設以来買収された時点までの期間の各年のフロー統計から、同じ推計方法によつて“買収ストック額”を算定して、国鉄のストックに合算すべきである。しかし私鉄の建設費はストック資料のみ、それも1893（M26）年から1918（T7）年の期間しか得られないし、資料上の問題もきわめて大きい。従つて買収線の調整は、この作業と同時に進めた私鉄の資本ストックの推計作業と共にこれからの課題としたい。

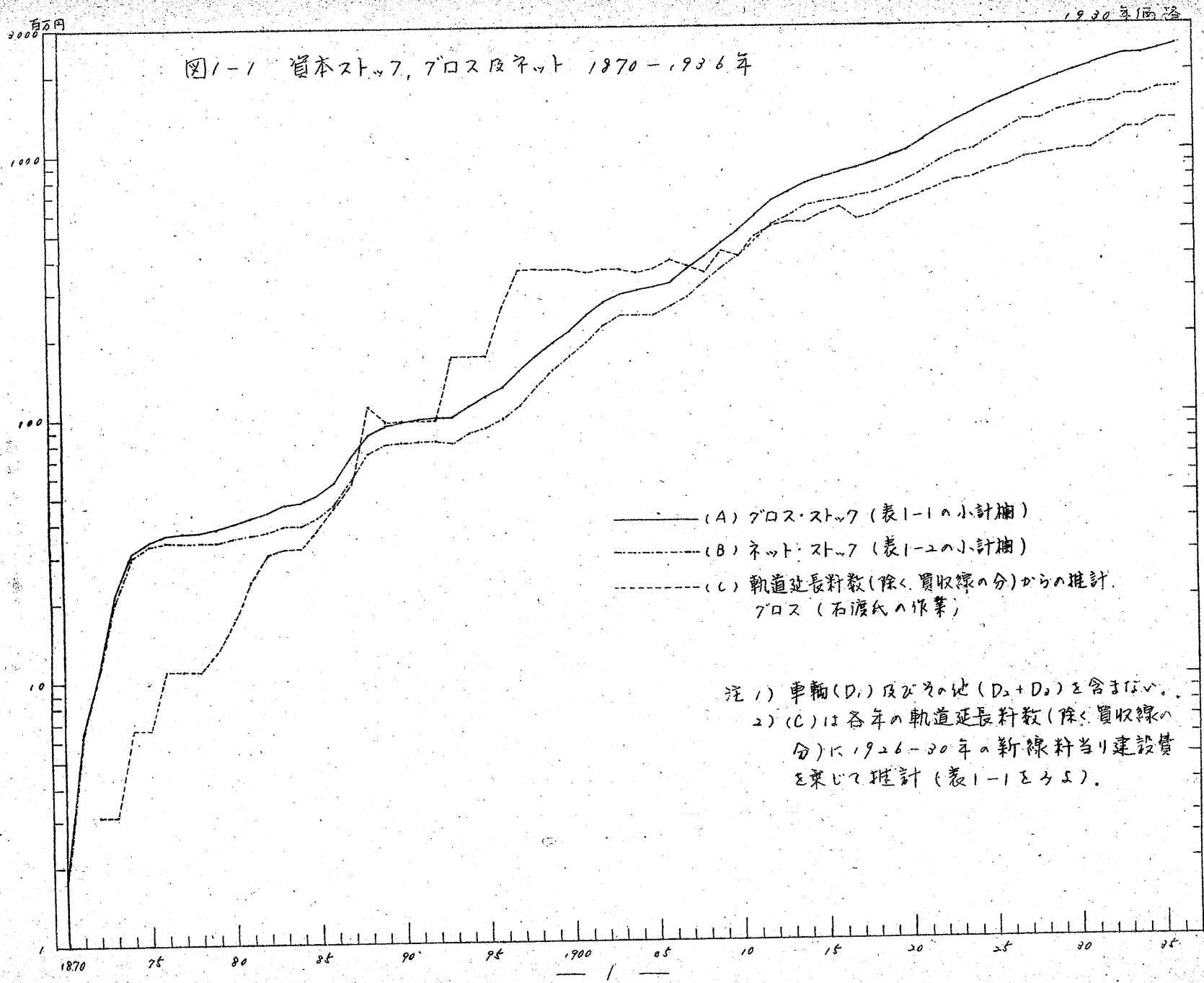
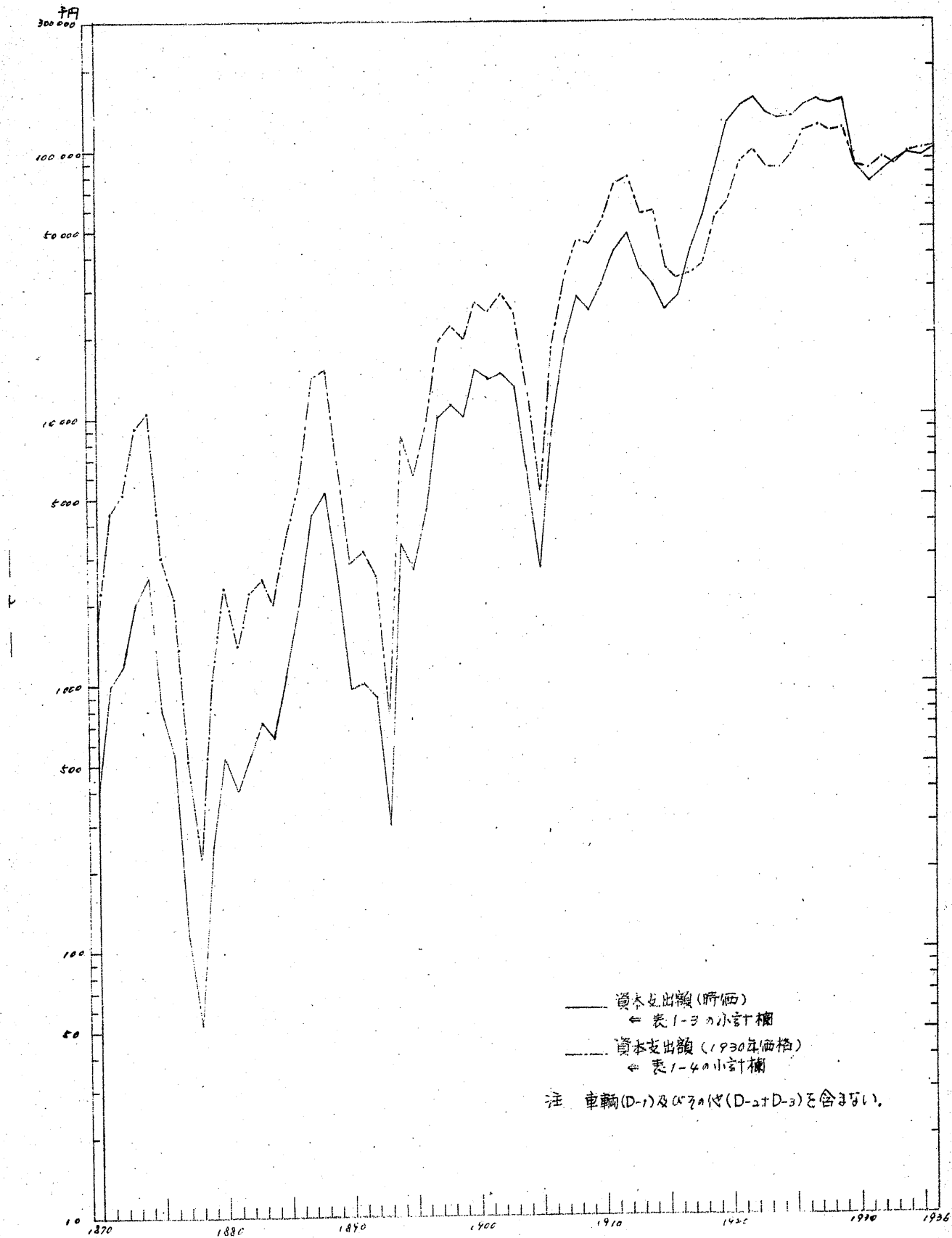


図1-1 資本ストック, グロス及ネット 1870-1936年

- (A) グロス・ストック (表1-1の小計欄)
- - - (B) ネット・ストック (表1-2の小計欄)
- · - (C) 軌道延長料数(除く買収線)からの推計  
グロス (石渡氏の作業)

注1) 車輛(D<sub>1</sub>)及びその他(D<sub>2</sub>+D<sub>3</sub>)を含む。  
 2) (C)は各年の軌道延長料数(除く買収線)に1926-30年の新線料当り建設費を乗じて推計(表1-1と35)。

図1-2 資本形成(70-) 1870-1936年



—— 資本支出額(時価)  
 ← 表1-3の小計欄  
 - - - 資本支出額(1930年価格)  
 ← 表1-4の小計欄

注 車輦(D-1)及び汽力機(D-2+D-3)を含む。

表1-1 項目別資本スト-7, 7ロス (1930年価格) 1870-1936年

単位 1000円

	A-1 土工	A-2 陸道	A-3 軌道	A-4 橋梁	A-5 橋 伏越	A-6 停車場	A-7 器械場	A-8 電力 通信 保安	A-9 掘埋 埋置 掘削	A-10 運搬 用車	日諸建物	C 共通費	計 (A-1~C)	D-1 車 輛	軌道延長 分50進計 (除買収額)
1870年	384	165	349	496	29	112	45	4	13	3	27	121	1,818	62	
71	1,225	558	1,125	1,694	304	325	157	12	40	11	97	444	6,197	211	
72	2,400	1,027	2,190	2,115	552	207	291	26	71	21	124	815	11,406	339	2 121
73	4,325	1,854	3,955	5,631	1,006	1,279	528	48	129	32	336	1,469	20,608	703	3 121
74	6,551	2,803	5,980	8,515	1,521	1,934	796	74	193	57	512	2,221	31,157	1,053	6 565
1875	7,122	3,080	6,562	9,352	1,662	2,125	874	82	212	64	565	2,443	34,232	1,179	6 565
76	7,146	3,272	6,976	9,932	1,772	2,257	930	86	224	67	599	2,600	36,364	1,272	11 201
77	7,757	3,321	7,079	10,080	1,799	2,290	942	86	228	70	609	2,638	36,898	1,283	11 201
78	7,825	3,343	7,122	10,141	1,811	2,302	946	86	228	70	614	2,656	37,125	1,302	11 201
79	8,226	3,428	7,321	10,426	1,862	2,362	972	90	237	73	630	2,722	38,176	1,355	12 592
1880	8,502	3,644	7,765	11,054	1,977	2,512	1,029	94	250	79	662	2,902	40,434	1,463	17 026
81	9,202	3,771	8,033	11,439	2,044	2,601	1,064	98	257	81	672	3,009	41,391	1,544	22 294
82	9,252	3,967	8,449	12,031	2,142	2,707	1,125	102	267	79	727	3,169	44,056	1,660	20 126
83	9,777	4,120	8,922	12,703	2,266	2,890	1,183	109	282	77	782	3,357	46,525	1,812	21 526
84	10,122	4,369	9,301	13,242	2,362	3,011	1,234	115	286	89	801	3,512	48,505	1,971	21 526
1885	10,942	4,692	9,992	14,227	2,526	3,234	1,328	125	319	66	864	3,822	52,133	2,272	28 316
86	12,127	5,197	11,070	15,765	2,810	3,582	1,471	139	340	89	972	4,270	57,025	2,345	46 066
87	15,041	6,446	13,241	19,567	3,427	4,445	1,827	172	392	129	1,212	5,356	71,947	2,870	56 290
88	18,239	7,810	16,651	23,714	4,223	5,322	2,14	202	459	126	1,485	6,524	85,116	4,952	106 123
89	19,692	8,434	17,923	25,611	4,559	5,312	2,392	225	443	226	1,607	7,024	94,074	5,502	26 426
1890	20,291	8,627	18,525	26,323	4,626	5,922	2,463	231	297	234	1,652	7,225	96,852	5,717	26 652
91	20,664	10,062	18,693	26,645	4,724	6,175	2,616	240	321	206	1,729	7,272	97,965	6,425	26 652
92	20,765	10,946	19,173	26,972	4,720	6,344	2,650	240	369	201	1,822	8,247	102,609	6,712	26 652
93	20,810	11,018	19,409	27,178	4,811	6,422	2,653	246	365	264	1,726	8,247	102,280	7,201	169 722
94	22,082	12,001	21,025	28,420	5,326	6,647	2,718	256	372	294	1,262	9,620	111,751	7,234	129 722
1895	22,867	15,225	21,860	29,206	5,427	6,921	2,725	286	371	226	2,155	10,221	117,020	8,422	129 527
96	24,514	17,751	23,126	30,619	5,722	7,150	2,829	305	367	431	2,561	11,892	127,228	8,392	257 244
97	27,540	24,112	24,595	32,625	6,604	7,265	3,004	416	379	182	3,060	14,633	146,476	11,256	258 222
98	31,162	22,453	29,257	36,596	7,177	8,454	3,477	502	327	222	3,475	17,492	167,527	14,525	259 222
99	34,500	34,963	31,413	39,552	7,927	9,256	3,623	590	417	922	3,925	20,021	187,360	15,251	260 260
1900	39,141	40,328	36,289	45,079	9,222	10,422	3,831	727	452	1,022	4,597	23,172	214,214	18,479	262 245
01	44,266	45,435	39,967	49,769	10,207	11,522	4,074	919	460	1,072	5,125	25,917	238,779	19,275	254 122
02	50,602	49,726	45,479	54,499	11,529	12,721	4,266	1,045	422	1,159	6,460	29,119	267,229	23,251	260 245

表1-1 項目別資本コスト、フロス(1930年価格)1970-1986年(7-73) 単位 1000円

	A-1. 土工	A-2. 隧道	A-3. 軌道	A-4. 橋梁	A-5. 溝渠	A-6. 停車場	A-7. 倉庫	A-8. 倉庫	A-9. 倉庫	A-10. 倉庫	B. 諸建物	C. 交通費	小計 (A-1~10)	D. 車 庫	軌道延長 の注(除算)
1903年	55 760	53 925	50 064	59 547	12 644	13 314	4 543	1 128	464	1 225	7 192	22 064	291 856	26 709	260 459
04	58 968	55 441	51 644	62 448	13 163	13 730	4 428	1 160	422	1 182	7 520	23 958	306 065	28 605	254 748
1905	59 680	56 212	51 843	63 126	13 279	13 934	4 355	1 177	392	1 152	7 890	25 207	308 267	31 151	259 377
06	62 547	57 567	54 444	67 944	14 216	14 852	4 666	1 352	397	1 111	8 769	27 752	325 527	32 491	292 026
07	67 623	61 618	62 466	70 465	15 212	19 552	5 322	1 783	559	1 272	10 615	41 193	357 450	34 985	272 615
08	74 382	66 321	75 025	73 865	16 466	26 964	6 291	2 409	775	1 244	13 192	45 980	422 695	40 227	247 645
09	82 324	71 742	84 468	77 825	17 815	32 280	7 325	3 144	1 022	821	15 711	51 422	465 909	42 807	420 403
1910	89 270	76 595	101 457	81 369	18 947	42 708	9 522	4 209	1 247	856	18 611	56 329	500 160	45 743	404 796
11	95 978	81 201	127 956	84 702	19 321	59 320	10 172	6 010	1 453	853	22 312	60 998	570 862	55 352	476 909
12	105 730	88 386	154 176	88 110	21 075	74 971	11 300	8 102	1 822	723	25 912	67 844	648 233	62 024	522 222
13	113 160	93 665	172 760	90 613	22 231	86 209	12 269	9 879	2 094	751	28 568	72 848	704 992	75 224	544 070
14	120 219	98 277	193 013	92 925	23 227	98 992	13 472	12 282	2 356	731	31 026	77 207	763 893	85 789	543 639
1915	123 947	105 772	205 321	94 149	23 815	106 306	14 570	13 955	2 409	817	32 927	79 599	799 757	91 351	524 108
16	127 187	107 519	217 447	94 958	24 279	114 427	15 491	15 665	2 442	870	35 125	81 222	822 162	94 928	605 203
17	131 061	104 950	227 785	95 870	24 743	121 641	16 322	17 919	2 542	1 046	38 491	82 872	865 223	97 007	549 774
18	134 850	107 185	240 100	97 327	25 163	129 245	17 101	20 529	2 595	1 145	41 505	84 647	901 427	108 723	549 147
19	140 341	111 651	252 429	99 547	25 285	139 512	18 249	24 520	2 651	1 056	44 121	88 398	954 500	142 127	621 671
1920	147 256	117 236	272 040	102 518	26 952	150 950	19 224	29 572	2 741	1 000	46 952	93 255	1 016 403	161 565	652 345
21	154 411	124 861	296 069	104 321	28 229	162 860	21 729	35 745	2 802	1 097	50 322	104 685	1 049 623	190 784	691 307
22	166 016	135 329	324 608	105 848	29 120	176 653	22 826	44 350	2 927	1 221	53 772	117 551	1 200 621	225 463	734 892
23	174 316	145 118	357 921	106 889	30 161	200 556	24 269	52 204	2 906	2 000	56 561	130 524	1 292 224	257 271	768 801
24	182 922	154 154	392 601	106 693	30 950	213 121	25 285	59 205	2 817	2 442	59 220	143 112	1 363 915	292 729	792 803
1925	190 202	162 024	414 792	105 462	31 214	231 677	26 317	67 653	2 675	2 897	62 412	155 946	1 462 323	346 320	829 622
26	198 757	174 189	451 042	107 466	31 552	254 535	27 323	81 090	2 622	3 716	66 276	166 595	1 542 226	397 279	882 897
27	207 009	185 637	489 124	109 222	32 126	277 662	28 521	96 210	2 592	4 174	71 430	178 952	1 622 312	445 226	922 201
28	216 230	195 686	522 590	112 213	32 216	301 419	30 359	109 222	2 377	4 715	75 512	192 750	1 757 502	482 210	952 222
29	228 240	207 778	559 754	117 326	34 813	320 201	31 492	127 227	2 212	5 026	80 219	205 315	1 914 695	519 952	976 742
1930	237 211	216 423	574 402	119 722	35 265	334 615	32 112	127 466	2 226	5 222	82 016	220 711	1 995 672	524 424	999 227
31	244 322	222 122	605 222	122 562	36 226	342 695	34 567	145 217	2 463	5 471	84 291	232 022	2 022 807	543 712	1 047 240
32	257 020	230 515	622 022	126 526	37 222	352 422	35 577	155 243	2 599	5 456	86 552	250 976	2 164 094	552 552	1 126 025
33	269 661	239 015	646 102	131 322	38 221	362 722	36 452	166 752	2 662	5 120	87 252	265 512	2 222 222	562 222	1 179 517
34	272 260	244 090	671 566	136 942	39 722	382 622	38 222	172 927	2 845	5 119	90 921	272 122	2 342 222	562 222	1 204 222
1935	282 247	249 620	696 455	140 812	39 776	397 122	39 422	192 522	2 227	5 221	96 454	285 222	2 422 222	597 222	1 250 222
36	286 222	258 170	717 421	143 840	40 225	415 227	40 522	206 222	2 222	5 125	102 017	292 222	2 522 222	624 222	1 272 222

表1-2 項目別資本ストックネット (1930年価格) 1870-1936年

単位 1000円

	A-1 土工	A-2 隧道	A-3 軌道	A-4 橋梁	A-5 渡橋	A-6 停車場	A-7 肥料場	A-8 貯水池	A-9 堤防	A-10 南	B 諸建物	C 交通費	(A-C)	D-1 車輛
1870年	384	165	349	496	89	112	45	4	19	3	27	131	1818	62
71	1300	555	1189	1684	302	381	155	12	29	11	96	441	6166	208
72	2376	1015	2164	3071	549	690	284	26	67	20	151	803	11246	375
73	4277	1825	3852	5525	881	1228	511	47	120	25	328	1441	20220	670
74	6431	2743	5851	8296	1469	1850	761	71	175	50	496	2164	30367	990
1875	6984	2973	6339	8963	1576	1977	812	77	181	51	536	2342	32811	1058
76	7329	3114	6638	9256	1625	2028	839	79	179	50	556	2450	34262	1072
77	7331	3108	6625	9305	1612	1926	820	75	169	44	551	2436	34071	1054
78	7268	3075	6550	9164	1576	1922	793	72	153	27	541	2401	33563	999
79	7377	3114	6630	9246	1579	1921	787	73	147	23	542	2424	33873	991
1880	7745	3223	6952	9665	1642	1987	811	74	144	22	564	2539	35419	1021
81	7816	3329	7091	9829	1657	1991	812	75	134	22	571	2588	36122	1029
82	8246	3462	7373	10192	1706	2040	833	76	129	22	589	2688	37362	1068
83	8633	3619	7705	10623	1766	2102	859	80	125	22	612	2812	38966	1122
84	8908	3728	7935	10908	1801	2127	871	82	119	22	626	2902	40039	1205
1885	9518	3928	8471	11628	1911	2250	924	88	122	43	669	3121	42723	1408
86	10543	4405	9382	12881	2116	2490	1023	93	126	67	756	3512	47410	1566
87	13292	5547	11863	16369	2717	3224	1330	126	200	114	977	4514	60307	2742
88	16263	6824	14549	20124	3359	4024	1666	156	268	158	1214	5585	74182	3637
89	17463	7318	15663	21547	3581	4274	1760	166	283	168	1349	6004	79461	3945
1890	17775	7470	15845	21807	3595	4256	1751	164	276	157	1310	6084	80425	3872
91	17759	7660	15704	21541	3496	4243	1722	165	254	112	1400	6505	81661	4066
92	17665	8376	15872	21825	3424	4206	1729	157	229	99	1398	6722	82203	4222
93	17413	9226	16288	21002	3226	4134	1684	155	205	127	1316	6557	80983	4228
94	18389	11065	17141	21700	3211	4082	1661	157	189	147	1442	7265	87448	5531
1895	18848	13072	17565	21918	3178	4144	1627	178	172	157	1579	8344	91252	6056
96	20178	15344	18472	22747	3227	4132	1642	187	157	245	1930	9637	98509	6174
97	22852	21410	19550	23201	4543	4589	1667	222	152	484	2364	12140	115162	8185
98	26089	25348	24402	27438	4928	4999	2040	260	148	675	2702	14712	132781	10918
99	28976	32354	25660	29662	5584	5559	2130	431	167	882	3074	16855	149920	11528
1900	32124	36226	29812	34398	6433	6319	2155	548	182	726	3637	19641	173217	12412
01	37470	40609	32885	38186	7322	7187	2317	720	190	823	4109	21917	193777	13992
02	42400	44194	37731	41921	8389	8232	2489	825	224	839	5254	24601	217985	16465

表1-2 項目別資本ストック、ネット。(1930年価格) 1870-1936年 (アツキ) 単位 1000円

	A-1土工	A-2隧道	A-3軌道	A-4橋梁	A-5港 橋	A-6停車場	A-7器械場	A-8電 通 信	A-9 電 報	A-10 電 報	B諸建物	C共通費	小計 (A-1~C)	D-1車輛
1903年	47 824	42 503	41 528	45 879	9 162	8 772	2 762	887	258	589	5 824	26 964	37 979	18 882
04	50 240	48 120	42 306	47 589	9 219	9 341	2 740	904	292	500	5 972	28 217	36 539	19 603
1905	50 110	47 867	41 642	47 018	9 100	9 764	2 796	909	269	392	6 152	28 787	36 907	20 885
06	52 134	48 385	43 279	46 572	9 178	10 415	2 842	1 052	267	281	6 834	30 628	36 665	20 985
07	56 306	51 477	50 495	51 725	10 220	14 756	2 810	1 442	406	264	8 460	33 214	38 566	22 455
08	62 100	55 153	51 891	53 724	11 224	21 550	4 404	2 010	585	218	10 771	37 277	38 108	27 094
09	63 878	59 468	70 126	56 209	12 349	25 981	5 222	2 665	790	404	12 960	41 799	36 962	27 675
1910	70 748	63 126	85 630	58 196	12 261	25 400	6 222	2 629	945	465	15 467	45 688	40 277	29 910
11	80 181	66 444	110 305	59 901	14 092	40 808	7 636	5 294	1 075	519	18 726	49 220	46 422	38 282
12	88 562	72 227	134 160	61 615	15 229	64 500	9 461	7 196	1 257	440	21 849	54 846	53 062	43 128
13	94 482	76 032	149 847	62 261	16 067	73 380	9 111	8 701	1 528	390	23 940	58 493	57 688	52 901
14	99 924	79 145	166 827	62 856	16 669	82 447	9 970	10 788	1 672	367	25 899	61 395	61 845	60 515
1915	101 935	85 002	175 849	62 221	16 552	88 186	10 872	12 052	1 615	410	27 202	62 262	60 960	62 375
16	103 404	80 462	183 627	61 147	16 280	92 374	11 204	12 307	1 545	289	28 620	62 335	65 481	62 096
17	104 461	80 785	189 728	60 160	16 247	96 132	11 666	15 052	1 509	478	31 091	62 289	67 066	62 314
18	107 378	81 266	197 697	59 710	16 125	100 874	12 269	17 100	1 459	562	32 152	62 416	68 799	70 816
19	110 962	82 851	211 217	59 872	16 206	107 549	12 247	20 444	1 407	506	34 725	64 474	72 422	99 167
1920	115 852	87 625	225 864	60 952	16 699	114 728	14 292	24 697	1 284	512	36 485	67 662	76 011	116 297
21	122 900	92 246	248 571	61 222	17 178	127 788	15 716	29 882	1 270	656	38 719	77 260	83 454	137 670
22	130 275	101 742	271 007	61 874	17 670	140 146	16 207	37 312	1 296	1 110	40 935	88 566	90 071	167 572
23	136 702	105 266	287 541	62 247	18 021	148 002	16 962	42 882	1 125	1 427	42 402	97 252	96 123	189 902
24	142 372	115 822	306 464	62 280	18 226	154 035	17 172	49 555	1 132	1 705	42 565	109 585	102 495	220 507
1925	146 984	121 254	320 285	62 061	18 409	165 644	17 428	55 420	1 077	1 966	45 442	120 736	106 506	257 559
26	152 816	130 647	358 070	62 209	18 659	181 072	17 826	66 632	1 025	2 619	47 911	128 482	108 451	292 891
27	158 229	139 122	387 178	62 562	18 725	195 948	18 021	79 070	1 107	2 772	51 417	137 692	112 921	324 717
28	164 492	146 147	410 722	64 452	19 027	211 079	19 027	89 700	1 121	2 628	53 970	147 925	130 222	344 419
29	174 014	154 978	431 192	66 384	19 215	220 526	19 842	102 579	1 214	2 127	57 056	156 662	140 770	357 376
1930	179 116	160 160	440 222	67 215	19 484	225 199	20 412	109 502	1 278	2 922	57 972	167 920	141 621	354 121
31	182 829	162 420	460 086	68 220	19 521	222 222	20 917	112 912	1 452	2 694	57 822	175 139	141 465	345 926
32	192 056	167 505	470 408	70 205	20 222	222 209	21 072	118 796	1 512	2 285	57 501	189 441	142 924	324 860
33	201 015	172 645	476 226	72 184	20 702	222 924	21 021	124 656	1 541	2 162	56 765	199 121	147 809	324 262
34	207 262	174 577	485 206	76 752	20 814	229 597	21 862	121 426	1 669	2 117	57 518	201 671	144 478	317 044
35	210 762	177 024	501 141	78 422	20 692	234 515	22 122	129 122	1 586	2 020	60 944	208 547	145 024	320 960
36	215 222	181 624	506 862	80 649	20 764	240 807	22 164	147 029	1 552	2 196	65 227	216 586	140 864	322 272



表1-3 項目別資本支出額70-(時価) 1870-1996年

単位 1,000円

	A-1. 土工	A-2. 隧道	A-3. 軌道	A-4. 橋梁	A-5. 橋脚	A-6. 停車場	A-7. 器械場	A-8. 観通保	A-9. 掘削	A-10. 運集	B. 諸建物	C. 共通費	小計 (A+B+C)	D. 準備	その他 (D+E)	合計 (A-10+D+E)
1870年	86	37	78	111	20	25	10	1	3	3	5	36	415	55	-	470
71	206	88	188	268	48	61	25	2	6	7	18	86	998	133	-	1131
72	245	105	224	318	57	72	30	3	7	9	16	102	188	159	-	1347
73	433	185	395	563	100	128	53	5	13	15	28	180	2098	280	-	2378
74	521	223	476	678	121	154	63	6	15	18	33	217	2525	337	-	2862
1875	166	71	151	215	38	49	20	2	5	6	11	69	803	107	-	910
76	112	48	102	145	26	33	14	1	3	4	7	47	542	72	-	614
77	27	12	25	36	6	8	3	-	1	1	2	11	132	18	-	150
78	11	5	10	14	3	3	1	-	-	-	1	5	53	7	-	60
79	51	22	46	66	12	15	6	1	2	2	3	21	247	33	-	280
1880	110	47	101	143	26	33	13	1	3	4	7	46	534	71	-	605
81	83	36	76	109	19	25	10	1	2	3	5	25	404	54	-	458
82	114	49	104	148	26	34	14	1	3	4	7	47	551	74	-	625
83	149	64	136	193	34	44	18	2	4	5	9	62	720	96	-	816
84	130	56	119	169	30	38	16	2	4	5	8	54	631	84	-	715
1885	234	100	214	305	54	69	29	3	7	8	15	98	136	152	-	1518
86	414	177	378	539	96	122	50	5	12	14	26	172	205	268	-	2323
87	894	382	817	1163	207	284	109	10	26	31	57	372	432	579	-	4911
88	1070	458	977	1382	247	315	130	12	31	37	68	445	518	692	-	5825
89	517	221	472	672	119	152	63	6	15	18	33	215	253	334	-	2837
1890	129	55	122	169	46	59	24	2	6	7	13	83	96	129	-	1024
91	88	44	54	84	9	60	42	3	1	13	22	204	212	457	-	469
92	71	31	170	116	20	60	12	-	-	-	9	145	916	250	-	1166
93	16	26	85	74	11	50	1	2	-	40	7	-	298	387	-	685
94	489	762	144	477	198	63	25	4	2	22	52	571	310	603	-	3913
1895	345	97	241	346	49	125	25	13	3	26	66	265	283	575	-	3558
96	768	178	595	859	138	102	53	9	4	82	152	754	4594	364	-	4858
97	580	322	762	1001	455	321	60	58	10	204	227	524	10134	779	2	11915
98	855	219	620	1428	290	352	242	44	10	184	201	580	1158	2372	38	13568
99	666	255	728	1428	410	451	163	44	22	81	216	401	9805	1099	1	11005
1900	510	934	637	889	587	580	80	74	26	108	331	871	14727	224	4	16975
01	819	787	631	590	621	669	159	108	17	48	291	637	13777	1202	8	14987
02	205	192	777	383	671	769	153	88	31	51	580	768	14648	2703	2	17351

表1-3 項目別資本支出額 70- (時価) 1870-1936年

単位 1,000円

年	A-1. 土工	A-2. 隧道	A-3. 軌道	A-4. 橋梁	A-5. 溝渠	A-6. 停車場	A-7. 柵柵場	A-8. 電線	A-9. 柵柵	A-10. 運具	B. 諸建物	C. 共通費	小計 (A-1~C)	D. 車輛	合計 (D+A-1~D-3)	合計 (A-1~D-3)
1905年	2 627	2 116	2 234	2 581	565	427	210	49	21	52	244	1 649	12 005	2 201	2	16 808
04	1 553	735	776	1 407	242	477	59	26	29	23	149	1 031	6 509	1 742	3	8 251
1905	261	291	101	344	69	436	99	22	1	6	185	715	2 720	2 454	85	3 209
06	1 472	703	1 297	2 499	486	575	202	95	12	-	475	1 491	9 227	1 511	10	10 738
07	2 005	2 403	4 817	1 495	591	2 866	428	252	98	81	1 072	2 274	19 388	2 015	75	21 403
08	4 127	2 278	7 686	2 021	222	4 556	594	223	122	115	1 526	2 166	28 086	5 477	126	33 563
09	4 474	2 054	5 320	2 231	821	2 002	585	414	145	122	1 412	3 212	24 958	2 029	81	26 987
1910	2 887	2 716	9 507	1 923	776	5 272	690	598	125	109	1 111	2 926	30 870	2 422	164	32 601
11	2 228	2 595	14 929	1 878	750	9 420	956	1 017	120	103	2 151	2 855	40 613	2 725	719	43 338
12	5 922	4 362	15 929	2 072	1 089	9 525	707	1 278	220	-	2 169	4 567	47 852	11 756	338	59 608
13	4 547	2 124	11 373	1 525	792	6 261	627	1 026	172	21	1 221	2 222	35 229	7 352	294	42 581
14	2 625	2 406	10 429	1 122	612	6 661	652	1 244	145	40	1 537	2 521	27 076	9 221	326	36 297
1915	2 521	1 624	2 702	221	262	5 455	720	1 126	66	122	1 206	1 724	24 655	6 589	296	29 940
16	2 792	1 851	10 013	697	406	6 176	275	1 422	75	22	1 472	1 526	28 016	5 219	316	31 541
17	5 052	2 651	13 496	1 191	622	9 272	1 272	2 261	162	224	2 722	2 190	42 592	9 074	222	51 888
18	5 749	2 224	12 682	2 226	810	12 000	1 723	4 011	174	262	2 162	2 221	56 111	26 251	1 595	79 957
19	2 527	6 942	28 476	2 422	1 250	17 222	2 222	6 222	122	72	2 272	5 252	24 170	15 247	154	39 571
1920	14 054	11 252	29 240	6 222	2 212	24 012	2 522	10 224	224	166	5 141	9 570	126 562	41 219	1 542	168 323
21	14 226	12 065	44 249	2 622	1 906	28 617	2 127	9 726	109	255	5 712	12 077	162 222	45 245	5 030	181 749
22	14 924	16 247	46 522	4 226	1 945	28 050	2 022	12 422	227	212	5 770	20 212	152 622	57 275	6 172	207 897
23	14 102	15 672	37 261	2 945	1 225	22 552	2 271	12 527	214	722	4 725	21 075	127 122	50 571	7 512	186 633
24	12 422	12 216	29 266	2 241	1 626	19 517	1 552	11 622	194	291	4 191	20 096	122 216	14 142	22 226	147 062
1925	9 266	10 952	42 030	2 556	1 222	25 722	1 512	10 222	159	611	4 212	12 127	122 612	12 222	20 522	132 834
26	10 626	15 119	45 207	2 551	1 242	22 922	1 241	16 224	226	1 064	5 442	12 220	142 122	12 222	17 222	159 344
27	10 215	14 210	47 576	2 621	1 150	22 190	1 622	12 924	216	574	6 256	15 127	142 627	12 126	10 146	154 773
28	11 526	12 561	41 752	2 242	1 521	20 457	2 441	17 221	202	209	5 450	16 214	144 622	12 277	5 522	161 901
29	11 002	15 245	39 542	5 244	2 062	24 702	2 202	22 260	295	520	5 200	15 516	150 462	12 622	3 222	163 284
1930	2 271	2 645	20 642	2 672	602	15 216	1 620	10 167	192	200	2 212	15 472	26 922	22 426	704	30 132
31	6 205	5 025	27 274	2 976	912	7 256	1 276	6 257	192	247	1 945	12 544	74 262	16 477	12 24	90 739
32	11 126	7 177	20 226	2 222	1 415	9 147	1 142	9 422	196	202	1 216	12 612	20 502	15 417	29 20	49 719
33	12 622	9 010	19 027	5 420	1 490	11 262	1 190	11 024	129	205	1 502	15 166	22 020	12 262	261	34 281
34	9 240	5 202	26 224	6 125	1 126	12 421	1 252	12 121	222	460	2 227	7 276	24 044	22 220	22 20	46 440
35	7 222	6 226	25 012	4 027	262	16 221	1 421	12 625	92	450	6 027	11 222	22 221	22 672	22 24	44 914
36	2 221	2 226	20 224	4 206	1 025	12 222	1 220	12 224	129	609	9 261	12 527	22 221	22 227	22 22	44 454

表1-4 項目別資本支出額 70-(1930年價格) 1970-1936年 單位 1,000円

	A-1. 土工	A-2. 隧道	A-3. 軌道	A-4. 橋梁	A-5. 溝渠 橋樑	A-6. 停車場	A-7. 器械場	A-8. 電氣通信 設備	A-9. 柵欄 境界	A-10. 遺棄 用	B. 諸建物	C. 交通費	小計 (A-1~C)	D. 車輛
1870年	384	165	249	296	89	112	45	4	13	3	27	131	1,818	62
71	921	393	840	1,198	215	273	112	9	27	8	70	313	4,372	149
72	1,095	469	1,001	1,421	255	322	134	13	31	10	87	371	5,209	178
73	1,925	827	1,765	2,516	447	572	237	22	58	17	152	654	9,262	314
74	2,216	949	2,025	2,884	515	655	268	26	64	19	176	752	10,549	355
1875	647	277	588	837	148	191	78	8	19	7	53	222	3,075	121
76	448	192	408	580	104	132	56	4	12	5	24	157	2,132	93
77	111	49	163	148	25	33	12	-	4	1	10	38	536	26
1878	48	22	43	61	13	13	4	-	-	-	5	18	227	10
79	221	95	199	285	52	65	26	4	9	3	16	76	1,051	47
1880	432	206	444	628	114	145	57	4	13	6	38	170	2,308	108
81	293	127	268	385	67	88	35	4	7	5	24	107	1,410	81
82	456	196	416	592	104	136	56	4	12	6	35	160	2,173	116
83	519	223	473	672	118	153	63	7	14	8	41	188	2,479	152
84	415	179	379	539	96	121	51	6	13	9	33	156	1,997	158
1885	756	323	691	985	174	223	94	10	23	16	63	289	3,647	302
86	1,181	505	1,078	1,538	274	348	143	14	34	20	109	468	5,722	572
87	2,922	1,249	2,671	3,802	677	863	356	33	85	55	245	1,036	14,044	1,025
88	3,188	1,364	2,910	4,147	736	938	387	26	92	58	267	1,178	15,301	1,082
89	1,459	624	1,332	1,897	336	429	178	17	42	20	122	550	7,016	556
1890	592	253	542	772	137	176	71	6	18	11	51	221	2,851	209
91	274	1,375	1,68	262	28	187	153	9	3	22	131	548	3,136	770
92	200	884	480	327	56	169	34	-	-	-	33	274	2,557	437
93	45	72	236	206	31	139	3	6	-	69	26	-	781	666
94	1,278	1,983	1,676	1,242	515	164	65	10	8	38	172	1,373	8,519	1,047
1895	784	2,224	775	786	111	284	57	30	7	41	187	771	6,057	904
96	1,647	2,526	1,236	1,413	296	219	114	19	9	121	406	1,501	9,547	536
97	3,026	6,362	1,459	2,066	871	615	115	111	19	281	499	2,741	19,165	2,451
98	3,628	4,340	5,262	2,911	573	689	473	86	20	256	415	2,865	21,518	3,295
99	3,322	6,510	1,556	2,956	820	902	206	88	44	98	460	2,523	19,495	1,336
1900	4,641	5,425	4,876	5,527	1,085	1,072	148	137	48	130	662	3,156	26,907	2,675
01	5,105	5,047	3,678	4,690	1,125	1,212	288	196	31	60	588	2,740	24,760	1,504
02	6,362	4,351	5,512	4,730	1,332	1,526	304	135	62	65	1,275	3,202	28,856	3,457

表1-4 項目別資本支出額 70- (1930年価格)

1870-1936年

単位 1,000円

	A-1. 土工	A-2. 隧道	A-3. 軌道	A-4. 橋梁	A-5. 橋樑 伏	A-6. 停車場	A-7. 蓄水池	A-8. 通信 線	A-9. 埋設 管	A-10. 埋設 管	B. 諸建物	C. 交通費	小計 (A-1~C)	D. 車輛
1902年	5 158	4 129	4 565	5 048	1 105	855	411	96	61	66	722	2 945	25 181	2 574
04	3 202	1 516	1 600	2 901	499	988	122	54	60	27	328	1 894	13 191	2 049
1905	712	771	199	678	136	859	195	43	2	7	270	1 249	5 221	2 704
06	2 877	1 355	2 501	4 818	937	1 109	289	183	23	-	879	2 545	17 616	1 642
07	5 066	4 051	2 122	2 521	996	4 832	722	435	165	82	1 846	3 441	32 279	2 066
08	6 760	4 702	12 559	2 400	1 343	7 445	971	626	216	133	2 577	4 787	45 520	6 227
09	7 941	5 421	9 443	2 960	1 564	5 329	1 038	735	257	153	2 519	5 442	43 802	2 542
1910	6 946	4 853	16 989	2 544	1 387	10 493	1 233	1 069	223	133	2 900	4 917	54 687	4 195
11	6 708	4 606	26 499	2 302	1 321	16 227	1 697	1 805	213	127	3 724	4 659	71 539	10 722
12	9 752	7 125	26 220	2 408	1 759	15 669	1 163	2 102	378	-	3 670	6 846	78 152	12 602
13	7 420	5 219	18 584	2 508	1 304	11 374	1 025	1 775	291	23	2 737	5 004	57 274	2 139
14	7 059	4 672	20 253	2 307	1 200	12 936	1 266	2 416	282	46	2 670	4 359	59 466	11 253
1915	2 728	2 495	12 218	1 224	513	2 035	1 149	1 673	97	113	2 077	2 392	36 214	6 115
16	2 240	2 147	11 616	209	471	7 744	1 015	1 720	87	60	2 251	1 684	32 244	4 236
17	2 874	2 031	10 228	912	522	7 562	974	2 268	125	126	3 240	1 590	33 712	4 918
18	3 789	2 220	12 215	1 467	534	2 567	1 135	2 643	115	181	3 024	1 774	37 774	13 126
19	5 491	4 471	18 339	2 210	289	11 155	1 535	4 027	117	44	2 621	2 751	54 630	22 266
1920	6 915	5 585	19 601	2 971	1 091	11 817	1 753	5 070	150	97	2 852	4 957	62 860	24 072
21	9 155	7 625	28 029	2 309	1 205	12 026	1 976	6 178	69	230	3 408	11 461	89 731	29 224
22	9 605	12 478	28 539	2 715	1 247	17 920	1 210	8 614	152	551	2 474	12 182	97 848	39 307
23	2 200	9 779	23 213	2 462	1 145	14 072	1 417	7 854	134	479	2 818	12 240	85 613	33 529
24	2 167	9 036	25 680	2 120	1 063	12 764	1 019	7 607	127	466	2 570	12 242	82 862	42 300
1925	7 225	2 940	21 197	1 852	941	12 660	1 097	7 858	115	500	3 255	13 585	94 326	51 810
26	2 549	12 095	26 246	2 241	1 074	23 142	1 072	12 467	181	922	4 027	10 871	114 498	52 546
27	2 252	11 448	38 140	2 897	920	22 252	1 302	15 129	173	518	5 162	12 529	119 232	51 585
28	9 221	12 049	32 406	3 078	1 217	24 266	1 953	12 533	162	717	4 322	13 221	116 156	41 897
29	12 610	12 092	21 164	4 684	1 625	19 471	1 812	17 541	232	502	4 968	12 582	112 284	26 919
1930	2 371	2 645	20 642	2 172	628	15 216	1 620	10 167	300	300	2 919	15 472	87 038	22 426
31	7 112	5 924	21 775	2 467	1 062	9 152	1 602	7 988	224	276	1 926	15 521	86 030	12 282
32	12 707	2 721	23 101	4 249	1 607	10 959	1 298	10 722	223	215	1 798	15 021	90 721	15 910
33	12 621	2 974	19 020	5 459	1 424	11 822	1 185	11 050	128	275	1 428	14 696	88 211	16 544
34	10 099	5 902	27 223	6 222	1 154	12 726	1 902	12 325	298	418	2 952	7 264	95 167	20 242
1935	2 487	6 549	26 914	4 408	922	17 572	1 540	12 660	99	428	5 695	12 329	92 609	21 927
36	2 648	2 757	21 614	5 012	1 122	19 502	1 225	14 225	145	574	6 750	12 750	101 550	26 614

表1-5 デフレータ 1870-1936年

1930 = 100.0

	i					ii					iii					iv			
	木造建物	鉄道及 軌道用施設	一般機械	交通		木造建物	鉄道及 軌道用施設	一般機械	交通		木造建物	鉄道及 軌道用施設	一般機械	交通		木造建物	鉄道及 軌道用施設	一般機械	交通
1870年	(541.3)	(446.9)	(112.0)	(363.6)	1900年	200.0	184.9	120.3	168.7	1930年	100.0	100.0	100.0	100.0					
71	(541.3)	(446.9)	(112.0)	(363.6)	01	202.0	181.7	125.1	167.4	31	99.0	116.5	111.6	114.6					
72	(541.3)	(446.9)	(112.0)	(363.6)	02	219.9	198.5	127.9	181.1	32	99.0	113.6	109.2	110.0					
73	541.3	446.9	112.0	363.6	03	212.8	195.6	127.6	178.6	33	94.7	99.6	90.1	96.9					
74	533.3	425.4	105.2	346.5	04	219.9	206.2	117.6	183.7	34	98.5	101.6	90.9	98.6					
1875	479.1	389.5	113.2	321.3	1905	200.0	197.1	110.2	174.7	1935	93.4	107.6	95.1	103.7					
76	487.3	400.1	129.3	333.2	06	185.1	192.8	108.7	170.7	36	91.7	104.3	94.3	101.2					
77	501.8	412.3	143.2	345.9	07	172.3	168.6	101.7	151.3										
78	549.5	432.5	145.9	362.7	08	167.8	163.4	115.7	151.2										
79	537.9	432.5	143.1	361.5	09	178.4	177.5	125.3	164.0										
1880	547.3	439.3	152.0	368.9	1910	180.0	178.7	122.2	164.1										
81	483.7	352.9	150.8	305.5	11	173.6	177.5	122.0	163.2										
82	494.0	400.1	156.8	340.7	12	169.2	164.5	107.2	149.9										
83	451.0	348.1	159.6	303.2	13	167.8	163.4	110.7	149.9										
84	415.2	318.9	187.5	288.6	14	173.7	184.2	115.6	172.9										
1885	419.7	322.9	199.0	294.5	1915	172.2	147.3	92.8	134.1										
86	420.0	285.3	213.5	272.0	16	152.3	116.0	72.8	106.2										
87	430.0	326.9	177.1	292.0	17	122.2	76.6	54.2	72.6										
88	392.5	297.9	156.1	264.8	18	95.6	65.9	50.0	62.9										
89	370.0	282.3	166.4	255.7	19	77.6	64.4	61.2	64.1										
1890	390.3	297.9	162.2	266.3	1920	55.5	49.2	58.4	51.8										
91	410.6	311.8	168.5	278.5	21	59.6	63.2	64.8	63.4										
92	366.7	282.3	174.9	257.8	22	60.2	64.1	67.8	64.9										
93	366.7	278.2	172.1	254.1	23	58.9	62.4	66.3	63.3										
94	330.1	260.3	173.6	240.5	24	61.3	65.4	67.5	65.9										
1895	283.0	227.2	157.3	211.2	1925	69.7	72.5	81.8	74.9										
96	267.4	214.4	147.2	199.1	26	73.9	80.0	87.6	81.8										
97	219.9	191.5	137.8	178.7	27	75.3	80.0	80.2	82.5										
98	206.3	195.6	138.9	181.3	28	79.5	80.0	88.6	82.2										
99	212.8	200.0	121.6	180.1	29	84.2	78.8	86.6	81.1										

注：物価倍率は昭和30年国富調査の物価倍率を  
昭和5年(1930年)に準拠に基準年転換を行った。  
・Iは1870~72年は1873年の数値を元のものを用いた。  
・IV) 交通費デフレータは i) × 0.04, ii) × 270,  
iii) × 0.26 の値を1に算出

表2-1 資本勘定支出決算額, 1926年~26年 單位 1,000円

費目	年										
	昭和11年	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
鐵道建設費(決算額)	42,922	42,197	47,724	52,130	47,742	27,207	41,716	68,907	51,824	49,217	47,953
係費	4,261	4,424	4,187	4,592	4,745	4,651	4,795	5,117	4,724	4,272	4,121
車輛費	2,841	2,822	3,557	2,618	2,178	2,588	1,779	4,464	451	1,190	1,222
鐵道改良費(計)	89,446	93,366	67,663	56,305	51,991	54,215	66,726	125,200	129,625	156,245	153,274
係費	5,277	5,068	4,684	5,112	6,407	7,016	7,507	8,283	9,562	9,191	8,144
線路増設費	4,451	4,949	1,886	4,477	2,962	8,705	4,771	8,964	15,685	27,984	28,638
線路改築費	429	1,241	566	82	-	-	-	-	-	-	-
軌條更換費	5,825	6,952	7,690	6,492	-	-	-	-	-	-	-
橋桁改良費	878	899	742	589	-	-	-	-	-	-	-
線路改良費	6,008	5,669	6,569	3,129	12,930	12,937	9,489	22,921	20,564	14,748	12,445
河川改修(附)工事費	303	228	-	4	152	152	-	-	-	-	-
停車場改良費	17,201	12,926	15,902	10,632	8,150	6,199	13,758	22,426	27,943	26,917	26,702
庁舎官舎及倉庫費	4,987	2,624	1,263	362	369	436	1,769	3,369	3,247	4,790	3,501
電化設備費	2,166	2,107	2,638	3,902	-	-	-	-	-	-	-
水力設備費	6,614	5,152	4,025	4,146	-	-	-	-	-	-	-
電灯電力設備費	218	291	637	391	372	347	453	1,072	1,226	1,490	1,227
通信設備費	1,261	797	1,047	511	597	561	1,088	2,598	2,465	2,921	3,572
電氣信号保安設備費	1,218	1,116	1,424	946	1,080	810	868	1,571	1,499	2,364	1,928
車輛費	26,448	27,620	17,452	14,684	11,559	12,920	18,866	22,092	29,792	44,425	40,420
工場費	881	812	1,027	676	646	761	1,016	1,522	1,645	1,217	799
船舶費	5,051	2,106	101	148	780	86	626	424	18	-	910
電氣運搬設備費	-	-	-	-	2,392	2,626	2,977	4,711	4,642	5,573	6,214
発電設備費	-	-	-	-	2,502	871	2,767	8,482	3,752	1,292	202
送電	-	-	-	-	93	277	759	1,846	1,982	2,920	2,145
支電	-	-	-	-	-	-	27	417	317	1,281	395
線路及建物復興費	-	-	-	-	-	-	-	3,202	4,415	6,222	11,851
電氣復興費	-	-	-	-	-	-	-	105	450	2,261	2,244
工場	-	-	-	-	-	-	-	122	490	481	1,926
自動車線設備費	2,026	2,627	2,689	2,015	-	-	-	-	-	-	-

資料: 鐵道統計資料, \*I編(下)輕記

表2-2 鉄道建設費(除統保費) 支出決算額, 1926-26年

単位 1,000円

費目	昭和		年									
	昭和11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
1 測量費	658	528	468	290	298	252	245	201	220	212	291	
2 用地費	2,282	2,751	2,955	4,110	4,207	2,991	2,405	5,297	4,824	4,017	2,422	
3 土工費	7,684	7,055	9,200	12,421	10,240	5,724	7,267	15,427	10,219	9,522	9,247	
4 橋梁費	2,522	2,121	5,205	4,266	2,250	2,202	2,202	5,295	2,729	2,571	2,441	
5 溝橋費	714	524	267	221	229	599	242	1,425	274	702	292	
6 込植費	210	264	201	422	442	267	202	566	492	224	275	
7 隧道費	2,279	1,221	5,207	9,228	7,275	5,229	2,241	15,222	12,425	14,225	15,221	
8 軌道費	2,251	2,167	10,252	4,272	4,412	5,526	1,212	7,452	5,226	4,227	2,242	
9 停車場費	1,252	2,270	2,221	1,229	1,226	1,417	1,224	1,219	1,229	1,527	1,229	
10 器械場費	291	207	247	422	422	522	422	292	224	241	224	
11 諸建物費	1,257	2,125	1,512	224	1,222	1,255	224	1,272	1,575	1,522	1,127	
12 防火防雪費	25	42	125	147	147	147	120	201	111	124	142	
13 運送費	1,222	1,229	1,452	1,221	249	222	1,152	1,441	1,221	1,222	1,222	
14 建築用汽車費	221	251	422	226	222	255	452	451	422	224	422	
15 建築用具費	122	22	25	122	22	22	142	242	222	252	222	
16 柵垣及境界柵費	21	22	52	22	42	22	22	47	57	52	44	
17 電線費	1,227	1,522	1,527	225	1,212	222	254	1,222	227	242	222	
18 運転用電気費	244	21	217	-	-	227	294	22	5	7	11	
19 車輛費	2,241	2,222	2,257	2,212	2,122	2,222	1,229	4,424	451	1,222	1,222	
20 決算上の未精算	1,222	1,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	2,222	
20-a (未精算額)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	(1,222)	
21 波止費	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	
22 信号所費	-	-	-	-	-	4	-	-	-	7	2	
決算額(前年度未精算額)	43,222	42,222	47,222	52,222	47,222	37,222	41,222	62,222	51,222	42,222	47,222	
支出の計(前年度未精算額)	44,222	43,222	51,222	52,222	48,222	38,222	39,222	67,222	50,222	48,222	48,222	
内) 本年度支出額	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	
前年度未精算額	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	22,222	

注 ※ 本表に於ける支出額、計は「資本費支出決算額」(表1)と相違するは、20の未精算額の費目と後者に合わせて調整した。

(カッコ内20-aの数字が本表に記載されている未精算額)

資料 鉄道統計資料, 財編より転記

表2-3 國鉄補給費決算額内訳 1926-26年度及1910-12年  
単位 1000円

費目	昭和											大正		
	1926年 昭和11年	1925 10	1924 9	1923 8	1922 7	1921 6	1920 5	1919 4	1918 3	1917 2	1916 1	1912	1911	1910
補充費(計)	25,721	27,089	29,351	29,219	24,194	22,326	27,812	27,362	27,549	24,422	24,212	2,060.7	1,842.1	1,658.5
用 費	15.7	18.8	13.4	5.2	21.3	1.82	22.7	5.42	27.7	19.3	5.52	1,50.9	28.3	72.8
工 費	6,026	8,322	7,327	2,007	3,262	2,812	5,050	5,556	7,272	7,266	8,329	3,44.6	3,34.7	2,54.2
橋梁費	25.9	28.6	27.8	20.9	26.2	22.2	22.0	22.2	22.2	20.1	1,09.6	72.2	26.7	94.2
溝橋費	15.8	19.6	17.7	3.6	8.7	12.6	26.3	17.2	19.8	23.1	21.2	19.8	22.5	18.5
伏樋費	25.0	22.2	22.9	22.0	24.0	31.7	27.0	23.6	26.3	21.3	27.8	13.9	21.2	12.5
隧道費	16.7	22	18	15	16	15.7	29	12.2	25.7	22.6	27.2	15.1	22.3	9.9
軌道費	22.2	25.1	22.9	22.1	26.2	25.9	26.1	1,52.8	1,23.2	2,56.2	2,82.8	2,02.4	2,04.8	2,31.1
停車場費	2,202	3,027	2,671	1,870	2,910	2,200	3,522	4,536	6,250	6,855	8,561	3,45.4	3,30.8	4,16.2
信号保安装置費	65.2	25.9	22.1	15.0	22.8	22.9	68.6	-	-	-	-	-	-	-
諸建物費	2,206	1,958	1,542	956	762	226	1,724	2,228	5,027	2,229	5,652	3,16.2	1,64.6	1,38.2
棚架及境界設備費	12.9	25	17.2	12.8	50	57	65	25.3	22.6	26.0	33.6	8.6	8.5	5.4
防雪杯	2.2	7	8	6	9	8	11	7	29	12	22	-	-	-
防雪堤	60	11	22	10	7	12	-	72	65	3	27	9.1	8.2	10.6
雪 覆	12	-	27	-	1	-	-	12.2	5	13.2	15	(防雪)	-	-
暖氣建造物費	25	2	122	30	21	27	9	29	11	12	26	-	-	-
工場建造物費	83	121	225	660	293	716	2,021	716	1,623	696	1,726	(各帳) 294.7	1,54.2	1,32.4
機械及器具費	2,232	3,622	3,650	1,989	1,322	1,282	1,575	2,365	6,067	2,182	2,853	-	-	-
電燈電力費	2,359	1,627	1,626	567	613	229	282	1,160	1,123	1,262	279	-	-	-
通信設備費	1,527	1,267	1,899	270	562	510	200	1,213	1,118	976	1,129	-	-	-
電氣信号機費	622	222	296	231	259	297	1,60	212	1,87	131	167	-	-	-
電力線路費	1,522	1,296	1,127	628	701	692	1,001	1,101	912	912	1,039	-	-	-
通信線路費	1,265	1,222	1,722	211	1,217	752	262	1,363	296	212	1,320	-	-	-
信号線路費	531	331	367	151	303	221	122	202	132	110	62	-	-	-
行倉旅館病院費	1,766	1,120	669	857	725	612	822	2,165	1,275	1,798	1,961	-	-	-
車 費	2,122	2,200	1,022	2,222	2,206	2,252	1,270	1,172	1,529	1,251	2,726	3,42.4	2,25.0	1,27.0
自動車費	1,222	22	22	222	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶及汽機費	1,222	2,222	1,262	2,222	1,222	221	221	222	1,522	1,122	2,222	27.6	27.0	7.0
割 賦 費	25.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	-	-	-
資料	鉄道統計資料、木工編及び「鉄道統計図表」より転記。凡そ他の年度については同様を内訳がなされる。											電氣費 25.9	電氣費 26.8	電氣費 25.5



表2-4 資本敷定支出決算額 1916-25年

單位 1000円

年度 費目	1925年	24	23	22	21	20	19	18	17	16
	大正14年	13	12	11	10	9	8	7	6	5
鉄道建設及改良費	190,181	189,992	185,509	201,558	183,128	167,195	129,616	71,745	39,989	20,627
A建設費	44,772	57,292	64,426	62,045	59,297	59,227	35,385	16,925	12,270	9,649
a. 総係費	4,010	5,245	6,172	5,631	4,927	203	116	112	84	70
b. 車輛費	1,286	2,117	1,795	3,529	2,343	5,017	2,326	1,389	406	289
(A-a-b)	29,476	49,934	56,529	52,886	51,027	52,807	22,942	15,424	11,880	8,672
改良費	145,409	132,701	121,083	128,513	124,831	108,167	104,231	54,821	27,819	21,579
総係費	8,426	7,572	8,757	6,192	5,002	-	-	-	-	-
線路増設費	24,782	25,180	22,192	28,227	26,121	-	-	-	-	-
線路改良費	12,654	8,227	8,679	9,289	10,865	57,965	42,592	27,867	19,292	15,176
建造物費	27,221	19,792	22,002	28,800	29,351	-	-	-	-	-
電気費	9,229	10,580	11,442	12,098	8,690	9,591	5,860	2,972	1,892	1,127
車輛費	40,262	27,814	29,936	46,565	26,279	23,245	52,288	21,179	5,624	4,476
工場費	1,145	1,117	1,789	1,452	2,781	3,221	2,255	1,152	651	679
河川改修附帯工事費	17	58	244	421	847	2,266	1,125	229	7	-
船舶費	240	2,812	2,405	5,252	4,296	1,139	-	810	142	123
線路建造物復興費	11,672	12,570	980	-	-	-	-	-	-	-
電気復興費	2,110	5,182	598	-	-	-	-	-	-	-
車輛復興費	52	9,642	2,719	-	-	-	-	-	-	-
工場復興費	1,269	992	112	-	-	-	-	-	-	-
補欠費	5,885	6,219	6,386	8,542	8,252	4,275	2,107	12,076	12,566	2,947

資料 鉄道統計資料、II 転記

表2-5 建設工事費内訳集計結果表

単位 1000円

年度 費目	1921年 大正10年				1915年 大正4年			
	(才1章)	(才2章)	(才3章)	計	(才1章)	(才2章)	(才3章)	計
	建設	軽便鉄道	建設残工事		建設	軽便鉄道	建設残工事	
1. 用地	2,125	1,460	4	3,589	562	25	...	587
2. 土工工事	9,671	2,526	22	12,219	1,226	226	22	1,474
3. 隧道工事	10,928	1,026	-	11,954	1,562	26	-	1,588
4. 橋梁工事	1,921	660	...	2,581	709	54	1	764
5. 溝橋工事	408	120	-	528	100	16	...	116
6. 伏樋工事	265	187	...	452	74	10	-	84
7. 諸建築物工事	222	261	39	522	124	26	10	160
8. 電線工事	255	130	2	387	29	5	-	34
9. 停車場工事	291	272	19	582	122	18	24	164
10. 軌道工事	4,727	1,246	28	6,001	1,022	112	8	1,142
11. 柵垣塙工事	22	228	1	251	2	1	2	5
12. 架桁工事	122	609	-	731	169	18	-	187
13. 信号機建工事	-	18	-	18	4	1	-	5
14. 諸標建工事	-	2	-	2	6	-	-	6
15. 通信工事	12	8	-	20	-	-	77	77
16. 給水付帯工事	-	-	-	-	-	-	...	...
計	22,262	10,505	115	32,882	1,227	680	217	1,924

注1 この作業に利用した数字は「決算額」ではなく、「予算額」及び「工事請負額」である。

2. 計算方法は

「工事請負額×予算額」(数年に亘る)×「当年工事割合」

= 当年の工事額

3. 改良工事及補完工事については同様の集計は不可能

資料: 大正10年『鉄道統計資料』建設編、「建設工事成績表」頁511。

大正4年『鉄道院統計図表』才58~60表「建設工事成績表」頁511。

表2-6 1890年-1906年「建設費細別表」-官設(年度末2.7) (費用割振調整済)

單位 1000円

項目	年度																		
	1906年 明治39年	1905 38	1904 37	1903 36	1902 35	1901 34	1900 33	1899 32	1898 31	1897 30	1896 29	1895 28	1894 27	1893 26	1892 25	1891 24	1890 23		
1 線路測量費								355	326	293	293	293	293	293	293	293	293	292	
2 工事監督費	11 280	10 306	9 740	9 043	7 963	6 797	5 746	789	789	789	789	789	789	789	789	789	789	789	789
3 築橋費								558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558
3-1 橋給液費								2 872	2 070	1 268	1 448	291	181						
4 用地費	14 453	13 449	10 797	10 813	9 689	8 050	7 389	5 235	4 008	3 398	2 512	2 087	2 036	1 664	1 663	1 653	1 640	1 640	
5 土工費	27 115	25 623	25 262	23 709	21 072	17 867	15 048	12 528	10 872	9 017	7 627	6 669	6 324	5 235	5 819	5 748	5 660	5 660	
6 橋梁費	28 496	25 997	25 653	24 246	21 665	19 282	16 692	13 703	12 225	10 797	9 126	8 477	8 131	7 654	7 580	7 464	7 380	7 380	
7 溝橋費(24.6.11費)	4 992	4 577	4 518	4 308	3 870	3 408	3 222	2 490	2 159	1 911	1 507	1 385	1 345	1 166	1 156	1 142	1 132	1 132	
8 伏樋費	1 139	1 068	1 058	1 026	899	670	555	400	321	276	225	209	200	181	180	176	175	175	
9 隧道費	26 787	26 084	25 693	24 958	22 842	20 650	17 863	14 929	11 674	9 455	6 133	4 955	3 976	3 214	3 188	2 875	2 434	2 434	
10 軌道費	23 225	21 928	21 827	21 051	18 717	15 940	13 209	11 272	10 494	7 804	7 042	6 447	6 106	5 462	5 377	5 207	5 153	5 153	
11 停車場費	7 205	6 680	6 194	5 715	5 228	4 509	3 840	3 260	2 809	2 457	2 126	2 034	1 809	1 846	1 786	1 726	1 676	1 676	
12 波止費	121	121	120	120	115	115	115	113	113	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112
13 車輛費	26 013	24 512	22 143	20 404	17 605	14 904	13 721	11 521	10 423	8 089	6 312	5 948	5 373	4 770	4 382	4 133	3 676	3 676	
14 器械場費	2 230	2 028	1 929	1 870	1 660	1 507	1 348	1 268	1 165	923	863	810	785	760	758	747	692	692	
15 諸建物費	3 529	3 130	2 950	2 808	2 508	2 228	1 837	1 306	1 090	889	662	510	444	392	389	390	358	358	
16 運送費	6 717	6 321	6 228	5 957	5 469	4 978	4 480	3 871	3 344	2 749	2 280	1 802	1 266	888	828	779	633	633	
17 建築用汽車費	1 027	962	906	843	762	651	563	472	390	320	235	216	197	175	175	172	166	166	
18 建築用具費	1 544	1 098	1 092	1 069	1 017	866	818	810	729	545	341	259	233	211	171	171	184	184	
19 棚垣及境界杭費(高欄費)	(調) 241	(調) 229	(調) 229	(調) 200	(調) 174	(調) 142	(調) 126	(調) 102	(調) 80	(調) 70	(調) 60	(調) 56	(調) 52	(調) 50	(調) 50	(調) 50	(調) 50	(調) 49	
20 電信及電話架設費	687	522	570	544	495	427	319	245	201	157	99	90	77	72	71	71	71	68	
21 其他	(調) 252	(調) 242	(調) 157	(調) 153	(調) 151	(調) 73	(調) 66	(調) 42	(調) 41	(調) 2	(調) -	(調) -	(調) -	(調) -	(調) -	(調) -	(調) -	(調) -	
21-1 運河南下	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
21-1 水道敷設	55	48	40	37	35	33	25	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21-1 油送管	29	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21-2 煉瓦工場	28	28	28	28	28	28	28	28	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21-3 補償費	76	76	76	76	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21-4 船舶	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	186 732	174 898	167 086	158 636	141 945	122 925	107 257	88 153	75 923	61 781	48 881	43 703	40 391	36 103	35 419	34 242	32 761	32 761	

注1) 官設 北海道各線を含む。

2) (調)は費用割振調整済の数字(原表と相違する)。例之は「其他」に含まれる「費用費」を19「棚垣及境界杭費」に振替した。

資料 鉄道局年報。

表2-7 1891年-1906年「建設費細別表」-官設(年度間70-表)

単位 1000円

年度	1906年	1905	1904	1903	1902	1901	1900	1899	1898	1897	1896	1895	1894	1893	1892	1891
項目	明治39年	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24
1 線路測量費								29	22	-	-	-	-	-	-	-
2 工事監督費	974	666	697	1,080	1,166	1,251	1,171	-	-	-	-	-	-	-	22	52
3 築橋費																
3-1 修築費								793	822	620	557	110	121	-	-	-
4 用地費	(1,004) * 980	(2,652) * 128	(1,824) * 176	(920) * 926	(1,593) * 1,527	(711) * 887	2,544	1,227	110	226	425	51	272	1	10	13
5 土工費	1,492	261	1,553	2,637	2,205	2,819	2,510	1,666	1,855	1,520	768	245	489	16	71	88
6 橋梁費	2,499	244	1,407	2,581	2,383	2,590	2,989	1,478	1,438	1,601	659	246	477	74	116	84
7 溝橋費(20-44)	415	59	210	433	462	486	422	221	248	404	122	40	179	10	16	8
8 伏補費	71	10	22	127	209	135	155	79	45	51	16	9	19	1	4	1
9 隧道費	703	291	735	2,116	2,192	2,787	2,924	2,255	2,219	2,322	1,178	979	762	26	213	441
10 軌道費	1,297	101	776	2,234	2,777	2,631	2,627	778	2,690	762	695	241	144	25	170	54
11 停車場費	575	426	479	427	769	669	520	451	252	221	102	125	62	60	60	60
12 液上費	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13 車輛費	1,501	2,369	1,799	2,799	2,701	(1,183) * 1,194	2,200	1,098	2,324	1,777	264	575	603	287	250	457
14 器械場費	202	99	59	210	152	159	80	103	242	60	53	25	25	1	12	49
15 諸建物費	(489) * 475	(1,801) * 125	(1,423) * 142	(2,001) * 244	(580) * 520	(291) * 291	221	216	201	227	152	66	52	0.7	9	22
16 運送費	286	93	271	488	491	428	602	507	615	869	278	226	268	-	119	146
17 建築用汽車費	65	66	63	81	111	88	91	82	110	45	19	19	22	-	3	6
18 建築用具費	66	6	23	52	51	42	102	81	184	204	82	26	22	40	-	0.13
19 期垣及境界施設費(雪圍費)	12	0	29	26	21	17	24	22	10	10	4	2	2	-	-	1
20 電信局築設費	95	22	26	49	68	102	74	44	44	58	9	13	4	2	-	3
21 其他	10	85	4	2	72	7	24	1	28	2	-	-	-	-	-	-
21-1 運河開切	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
21-1 水道施設	7	8	2	2	2	8	24	1	-	-	-	-	-	-	-	-
21-1 油送管	2	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21-2 煉瓦工場	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-
21-3 捕償費	-	-	-	1	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21-4 船 舶	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	(11,824) 11,816	(7,822) 7,713	(8,420) 8,429	(16,891) 16,741	(19,020) 19,024	(15,668) 15,865	19,104	12,220	14,142	12,800	5,283	2,312	4,288	684	1,177	1,481

注) \*は年別土地の純譲受価格を控除した値。建物については(譲受-譲渡-私下-焼失)を控除した値。(F.L.1901-1906年のみ)  
資料: 表2-6の年度末ストック表より年間増分を算出。

表2-8 国鉄建設費関係、決算額 1907年-15年, 1901年-06年, 1886年-1900年

単位 1,000円

年度	1915	1914	1913	1912	1911	1910	1909	1908	1907
費目	大正4	3	2	1	明治44	43	42	41	40
1. 鉄道建設費	9,601	16,301	18,686	28,233	19,963	18,727	21,252	23,053	15,770
2. 3線係費	92	110	121	144	117	108	86	114	113
3. 5車輛費	530	3,441	1,428	4,561	2,626	476	843	3,746	2,068
4. 改良費	20,273	22,230	22,591	31,018	29,237	15,679	5,245	10,569	13,589
5. 補充費	2,266	3,362	2,617	2,061	1,843	1,659	2,542	1,849	5,866
計(1+4+5)	31,930	41,852	45,334	61,312	51,043	36,085	29,040	35,471	35,224
(1-2-3)	3,928	62,750	17,069	23,522	17,220	18,163	20,324	19,192	13,589

資料 鉄道院年報(より)転記

年度	1906	1905	1904	1903	1902	1901
費目	39	38	37	36	35	34
1. 建設費	5,688	3,087	4,504	11,847	12,770	11,346
2. 臨時事件費(備)	162	1,022	315	-	-	-
3. その他の建設費	62	-	1,327	-	-	352
4. 北海道線敷設費	1,260	292	996	1,867	2,348	625
5. 改良費	3,894	370	1,116	2,872	3,708	2,963
6. 補充費	829	542	290	385	455	621
計(1-6)	11,905	5,318	8,558	16,991	18,287	15,907

年度	1900	1899	1898	1897	1896
費目	33	32	31	30	29
建設費	14,248	9,536	7,800	9,526	3,564
改良費	4,352	2,370	3,851	4,413	1,166
補充費	745	413	509	444	470
計	19,451	12,319	12,160	14,383	5,180

注 北海道各線は明治29年まで北海道鉄道部の所管に属し、その建設費の報告がないため、各年度末の建設費ストックの差額より求めた。(厳密には対応しない)

年度	1895	1894	1893	1892	1891	1890	1889	1888	1887	1886
費目	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
建設費	2,362	3,641	67	862	1,187	705	2,986	6,185	5,168	2,395
補充費	1,028	647	629	347	313	444	-	-	-	-
計	3,390	4,288	706	1,209	1,500	1,149	2,986	6,185	5,168	2,395

注 1) 明治33年以前には資本勘定の明示がないため「鉄道統計資料」附録の「累年表」より転記

2) 「改良費」は明治29年に「補充費」は明治23年に設定された。

3) 明治18年以前は表2-9を見よ。

表2-9 国鉄建設費決算高年度調整 1870~1884

単位 円

明治年	1884	1884/84	1884/83	1883/82	1882/81	1881/80	1880/79	1879/78
月	18.12~18.7	18.6~17.7	17.6~16.7	16.6~15.7	15.6~14.7	14.6~13.7	13.6~12.7	12.6~11.7
通常経費(測量費)	-	-	-	-	-	-	-	-
常用金	-	-	-	-	-	60,770	15,540	-
興業費	-	401,870	897,204	743,812	399,675	667,886	348,559	75,168
中山鉄道公債	180,000	299,496	-	-	-	-	-	-
計	180,000	701,366	897,204	743,812	399,675	728,656	364,089	75,168
調整	明治8年	18	17	17	16	16	15	15
決算高計	180,000	175,341	526,024	224,301	672,903	185,953	657,860	99,919
結果	明治18	17	16	15	14	13	13	12
決算高計	1,355	750	859	658	482	637	292	63
年	1878/77	1877/76	1876/75	1875	1874	1873	1872	1871/71
月	11.6~10.7	10.6~9.7	9.6~8.7	8.6~8.1	7.12~7.1	6.12~6.1	5.12~5.10	5.9~4.10
通常経費(測量費)	-	-	52,461	25,860	89,047	5,538	563	1,289
常用金	27,812	547,859	389,868	714,346	3,260,033	2,212,134	164,997	1,389,412
興業費	-	-	-	-	-	-	-	-
中山鉄道公債	-	-	-	-	-	-	-	-
計	27,812	547,859	942,329	740,206	3,349,080	2,217,672	164,900	1,390,702
調整	11	10	10	9	8	7	6	5
決算高計	6,953	20,859	126,915	410,894	235,582	706,767	250,089	510,137
結果	10	9	8	7	6	5	4	4
決算高計	158	646	557	2,812	2,561	1,415	1,190	
年	1871/70							
月	4.9~3.10							
通常経費(測量費)	1,952							
常用金	987,417							
興業費	-							
中山鉄道公債	-							
計	989,370							
調整	4	3						
決算高計	494,685	494,185						
結果	明治9年							
決算高計	495							

注 各年々々相違する会計期間を当該4月1日翌年3月31日の年度に統一調整方法は単純分割法

資料 上野省沿革報告(公)運輸(明治前期)財政経済史料集成(17巻上)

表3-1 耐用年数別、項目別、建設費目別振表

耐用年数		建設費	改良費	補充費	注	耐用年数		建設費	改良費	補充費	注
資産項目	年数	關係	關係	關係		資産項目	年数	關係	關係	關係	
A1 土工	70	土工費	-	土工費		B 諸建物	40	諸建物費	庁舎、倉庫及倉庫費	諸建物費	
2 隧道(トンネル)	60	隧道費	-	隧道費		C 交通費	60	総係費	総係費	割掛費	
3 軌道	60	軌道費	線路増設費(線路改良費)	軌道費	線路改良費、工賃			(線路)測量費			
					工賃			工事監督費			
4 橋梁	50	橋梁費	橋桁改良費	橋梁費				(修繕設備)費			
			河川改修工事					運送費			
5 溝橋伏樋	27	溝橋費 伏樋費		溝橋費 伏樋費				建設用汽車費			
6 停車場	20	停車場費	停車場改良費					運輸用器具費			
7 器械場	20	器械場費	工場費	器械場費	工場復興費、工賃		D1 車輛	20	車輛費	車輛費	車輛費
				工場建造物費	工賃		2 復興費		電気復興費		
8 電気通信	20	電線費	電気費	電気電力器具費	電気復興費、工賃			車輛			
信号、保安		信号所費	電力設備費	電気信号機費	工賃			工場			
			水力	電力線路費				線路建造物			
			電灯電力	通信			2 土地資本	(運河水道、油)	船舶費	船舶費	船舶費
			通信	信号			形成	(送管、使用工場)	自動車設備費	船舶及浮標費	
			電気信号保安	通信器費			E 料外				
			電気運輸	電信及電話線			1 用地費	用地費	(用地費)	用地費	
			発電	架設費			2 補償費	(補償費)			
			受電	電気建造物							
			送電	信号及保安装置費							
			受電								
9 柵、防火、雪・波	15	柵垣及境界杭費	-	柵垣及境界杭費							
				防雪林、防火費							
				防雪堤							
				雪圍、覆							
				波上費							
10 器具、用具	10	建築用具費		建築用具費							
				機械及器具費							
11 線路改良	20	-	線路改良費	-							
12 軌条更換	15	-	軌条更換	-							

注 Aは構築物、Bは建物、Cは交通費、Dは車輛、Eは土地の資本形成、料外は資本ストックの概念から除外された項目。

表3-2. 国鉄「建設費+改良費+補充費」(合計)の構成比較

単位 1,000円

	1926年~28年(昭和1年~3年)		1904~06(明治37年~39年)		1991.92.94年(明治24.25.27年)	
	決算額 (70-)	構成比 %	増分 (71-)	構成比 %	増分 (27-)	構成比 %
A' 1. 土工	22,627	11.2	2,406	21.0	648	15.0
2. 隧道	41,990	14.4	2,829	22.6	1,576	25.1
3. 軌道	86,894	29.8	1,174	7.2	868	20.1
4. 橋梁	11,020	2.8	4,250	26.2	677	15.7
5. 溝橋伏樋	4,114	1.4	727	4.9	227	5.2
6. 停車場	88,575	20.4	1,490	9.2	182	4.2
7. 器械場	5,410	1.9	260	2.2	86	2.0
8. 柵垣及境界杭	645	0.2	40	0.2	4	0.1
10. 建築用具	2,447	0.8	85	0.5	9	0.2
B 諸建物	17,755	6.1	809	5.0	92	2.2
小計(A'+B)	291,477	100.0	16,240	100.0	4,214	100.0
		(46.5)		(61.1)		(62.1)
A'' 電気通信等	52,446		142		7	
11. 線路改良	47,757		-		-	
小計(A'')	101,202	16.1	142	0.5	7	0.1
C 交通費	57,551	9.2	2,171	11.9	920	19.2
合計(A'+B+A''+C)	440,221		19,554		5,241	
D その他の資本形成						
1. 車輛	121,460	21.0	5,609	21.1	1,310	18.9
2. 復興費	20,241		-		-	
3. その他(船舶・脚車等)	2,587		121		-	
小計(D)	144,288	26.2	5,730	21.6	1,310	18.9
E 梓外						
1. 用地	12,245	2.0	1,284	4.8	394	5.6
総計(A'~E)	627,264	100.0	26,528	100.0	6,946	100.0



表3-3 国鉄建設費<sup>1)</sup>の内訳比較

単位 1,000円

年又は期間 費目	1924年~26年(昭和9年~11年)		1926~28(昭和1年~3年)		1921年(大正10年)		1915年(大正4年)		1906年(明治39年)	
	決算額	構成比	決算額	構成比	(集計額)	構成比	(集計額)	構成比	決算額	構成比
A 1 土工	22,941	24.6%	20,354	26.3%	12,289	22.8%	2,145	22.0%	846	21.2%
2 隧道	20,268	20.8	41,781	26.3	11,974	20.5	1,665	24.8	658	14.7
3 軌道	20,171	20.7	12,882	12.1	5,761	17.2	1,142	17.0	794	17.7
4 橋梁	12,015	12.4	10,801	9.4	2,591	6.8	764	11.4	738	16.5
5 溝橋・伏樋	2,880	2.0	2,825	2.3	1,780	4.6	396	5.0	223	5.2
6 停車場	5,409	5.6	4,845	4.2	1,181	2.0	225	3.4	382	8.5
7 器械場	1,845	1.9	1,289	1.1	-	-	6	0.1	188	4.2
8 電力通信等	4,244	4.5	2,283	2.0	426	1.1	48	0.7	52	1.2
9 柵垣・境界杭	463	0.5	530	0.5	51	0.1	84	1.3	22	0.5
10 建築用具	267	0.4	1,337	1.2	-	-	-	-	77	1.7
B 諸建物	5,534	5.7	4,288	3.7	1,222	3.1	230	3.4	280	6.5
小計(A+B)	97,247	100.0	115,106	100.0	39,285	100.0	6,705	100.0	4,470	100.0
C 1 総係	12,872		12,228		4,927		89		307	
2 測量・運賃等	6,922		6,757		8,140		1,684		783	
3 未精算等	15,526		10,568							
小計(C)	35,320		30,553		13,067		1,777		1,090	
建設費(A+B+C)	132,617		145,657		52,362		8,482		5,560	
D 其他の資本形成										
1 車輛	9,236		2,864		2,343		530		1,231	
E 枠外										
1 用地	10,088		12,633		2,592		589		722	
総計(A-E)	151,941		161,254		58,297		9,601		7,523	

注1. 改良費、石工の補充費、を含む。

2. 本表は推計上の参考資料として計算したもので、直接推計には利用しない。

表3-4 国鉄「建設費」内訳推計作業資料(構成比) 1906年~1926年

費目	年度				単位 %		
	1926年 昭和1年	1921 大正10年	1915 大正4年	1906 明治39年	a) 1926/21	b) 1921/15	c) 1915/06
					平均	平均	平均
A 1. 土工	20.7	26.0	22.9	15.8	23.4	24.9	20.0
2. 隧道	21.7	23.5	18.5	11.0	27.6	21.0	14.9
3. 軌道	8.1	13.2	12.7	12.3	10.7	12.9	12.0
4. 橋梁	7.2	5.1	8.5	12.3	6.1	6.8	10.4
5. 溝橋・伏樋	2.7	3.5	4.4	3.9	3.1	4.0	4.1
6. 停車場	2.9	2.3	2.5	6.4	2.6	2.4	4.4
7. 器械場	0.8	-	0.1	3.1	0.4	0.1	1.6
8. 電気・通信等	1.4	0.8	0.5	0.9	1.1	0.7	0.7
9. 柵垣・境界杭	0.4	0.1	0.2	0.4	0.3	0.5	0.6
10. 建築用具	1.5	-	-	1.3	0.7	-	0.6
B 諸建物	2.5	2.4	2.6	6.3	2.4	2.5	4.4
C 2. 共通費・其他	12.8	16.1	18.8	13.1	14.4	17.4	15.9
E 1. 用地	7.3	7.0	6.6	12.2	7.2	6.8	9.4
計(除関係費・車両)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 注 1. C1 総係費及びD1車両費は「資本費」に明示されているため、推計作業には関係ない。  
 2. 資産項目 A10.11 D2, E2.3 は該当なし  
 3. 用の方 構成比 a) は 1922-25年間の推計に、b) は 1916-20年間の推計に、c) は 1907-1914年間の推計に利用した。

表3-5 「改良費」内訳推計 1916-25年

単位 1,000円

年度 項目	1925年	24	23	22	21	20	19	18	17	16	
	大正14年	13	12	11	10	9	8	7	6	5	
築橋費	8,436	7,572	6,757	6,182	5,002	-	-	-	-	-	
橋梁費	17	58	244	431	847	2,266	1,185	879	7	-	
線路増設費	24,782	25,180	22,192	28,327	26,121	22,822	17,548	11,421	7,262	6,253	
線路改良費	12,654	8,227	8,678	9,288	10,865	8,689	6,517	4,264	2,952	2,222	
建築物	停車場	23,933	17,238	20,150	25,229	26,149	22,027	16,185	10,589	7,221	5,767
	諸建物	2,288	2,454	2,253	2,571	2,702	2,267	2,242	1,523	1,061	894
工場費	1,165	1,117	1,289	1,458	2,780	2,221	2,255	1,153	651	678	
電気費	9,929	10,520	11,448	12,098	8,690	9,581	5,860	2,972	1,822	1,127	
車輛費	40,263	27,214	29,921	46,565	26,279	22,845	22,382	21,179	5,624	4,426	
復興費	19,611	29,277	4,459	-	-	-	-	-	-	-	
その他資本	240	2,212	2,465	5,252	4,296	1,189	-	810	143	122	
合計	145,409	132,641	121,012	138,513	124,831	108,167	104,221	54,821	27,618	21,579	

注 7-2-3-1に推計額(他は概記額)。(51-53年の比率は2%)

表3-6 「改良費」内訳推計用構成比 1907-15年

単位 %

年度 項目	1915年	14	13	12	11	10	9	8	7
	大正4年	3	2	1	明治44年	43	42	41	40
線路増設費	26.8	27.9	28.9	30.0	21.1	22.2	23.2	24.4	25.4
線路改良費	9.9	10.4	10.8	11.1	11.6	11.9	12.3	12.7	13.1
停車場費	24.7	25.7	26.7	27.7	28.7	28.7	28.7	21.7	22.7
諸建物費	3.6	3.7	3.9	4.0	4.2	4.3	4.5	4.6	4.7
工場費	2.2	2.1	2.1	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	1.5
電気費	4.8	4.2	4.6	4.2	2.6	2.2	1.7	1.1	0.6
車輛費	27.0	25.0	23.0	21.0	12.0	17.0	15.0	13.0	11.0
その他資本	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注 この表の算出法は、大正5年と明治39年の両年の合計の直線補間による。

結果は表3-9

表3-7. 国鉄「補充費」内訳比較及推計資料

単位 1,000円

年又は期間 賞目	1934年~36年(昭和9年~11年)		1926~28(昭和1年~3年)		1910~12(明治43~大正1年)		1913~25 推定用
	決算額	構成比 %	決算額	構成比 %	決算額	構成比 %	
A' 1 工工	2,177.6	48.1	2,273.0	29.3	893.5	21.8	25.5
2 隧道	23.4	0.5	198.1	2.6	54.3	1.3	2.0
3 軌道	114.9	2.5	784.1	10.1	839.3	15.6	12.8
4 橋梁	162.2	3.6	218.5	2.8	252.1	6.2	4.5
5 溝橋・伏樋	182.2	4.0	179.2	2.3	108.4	2.7	2.5
6 停車場	1,012.1	22.4	2,166.6	27.9	1,092.4	26.7	27.3
7 番杖場	97.9	2.2	409.5	5.3	382.9	9.4	7.4
9 柵垣及境界杭	51.2	1.1	114.6	1.5	50.8	1.2	1.3
B 諸建物	691.3	15.3	1,415.8	18.2	619.0	15.1	16.7
小計(A'+B)	4,522.8	100.0	7,759.4	100.0	4,089.7	100.0	100.0
		(29.7)		(47.2)		(73.6)	
A'' 8 通信設備	925.9	15.1	632.3	8.2	398.2	7.2	構成比 の 直 線 補 間
信号保安設備	397.3		29.3				
電力設備	981.8		640.4				
10 建築用具	1,152.8	7.6	1,110.2	6.8	-	-	
小計(A'')	2,457.8		2,462.2		398.2		
(A'+B+A'')	7,980.6		10,221.6		4,487.9		
C 一般管理	84.4	0.6	100.4	0.6	-	-	
D その他の資本形成							
1 車輛	6,001.4	39.4	2,847.6	23.4	696.0	12.5	
2 その他の資本	1,099.2	7.2	2,162.5	1.3	61.6	1.1	
E 枠外							
1 用地	47.8	0.3	112.3	0.7	313.0	5.6	
総計(A'~E)	15,223.1	100.0	16,439.3	100.0	5,562.3	100.0	

注 1) 1934-36年の数字は推計作業上の参考資料であつて、直接は利用して居ない。

2) 1913-25年間の推定に用いた構成比はA、Bについては、1926-28年と1910-12年の平均値とでは、その両期間の直線補間。

表3-8 国鉄「補充費」内訳推計(構成比) 1907年~09年, 1913年~25年

単位 %

費目	年度	1925年	1924	1923	1922	1921	1920	1919	1918	1917	1916	1915	1914	1913	1907~1909 明治 42~40
	大正14年	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2		
A 1 上工		12.8	12.3	12.7	14.1	14.5	15.0	15.4	15.8	16.2	16.7	17.1	17.5	17.9	16.1
2 隧道		1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.0
3 軌道		6.5	6.7	6.9	7.1	7.3	7.5	7.7	7.9	8.2	8.4	8.6	8.8	9.0	11.5
4 橋梁		2.3	2.3	2.4	2.5	2.6	2.6	2.7	2.8	2.9	2.9	3.0	3.1	3.2	4.6
5 溝橋伏樋		1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	1.9
6 停車場		12.7	12.2	14.6	15.1	15.6	16.0	16.4	16.9	17.4	17.8	18.3	18.7	19.2	19.6
7 器械場		3.7	3.9	4.0	4.1	4.2	4.3	4.5	4.6	4.7	4.8	5.0	5.1	5.2	6.9
8 電気通信等		8.2	8.1	8.1	8.1	8.0	7.9	7.7	7.7	7.6	7.5	7.4	7.3	7.2	7.2
9 柵垣境界杭		0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9
10 建築用具		5.9	5.5	5.1	4.7	4.3	3.8	3.4	3.0	2.5	2.1	1.7	1.2	0.8	-
B 諸建物		8.4	8.7	9.0	9.2	9.5	9.8	10.1	10.3	10.6	10.9	11.2	11.4	11.7	11.1
C 共通費		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	-
D 1 車両		22.1	21.4	20.7	20.0	19.3	18.6	18.0	17.3	16.6	15.9	15.2	14.5	13.9	12.5
2 その他の資本		12.0	11.2	10.4	9.6	8.9	8.1	7.3	6.5	5.7	4.9	4.2	3.4	2.6	1.1
E 1 用地		1.3	1.6	1.9	2.2	2.5	2.8	3.1	3.4	3.7	4.0	4.3	4.6	4.9	5.6
総計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1 資産項目のうち A 11, 12, D 2, E 2, 3 は該当なし。

2 (※) 1909~07年の間の推計には、1912~10年の平均を用いた。

3 1913~25年間は表3-7と同じと並列補間。

4 推計結果分類は表3-9に。

表3-9 建設改良補充費推計結果 1907~25年

単位 1000円

算科日	1925年 大正14年				1924 13				1923 12				1922 11			
	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計
A. 土工	9,238	-	728	9,966	11,661	-	827	12,488	10,228	-	875	11,103	13,779	-	1,205	14,984
2. トンネル	10,885	-	57	10,942	13,754	-	12	13,816	15,602	-	70	15,672	16,253	-	94	16,347
3. 軌道	4,224	24,783	169	29,176	5,222	25,180	417	28,929	6,469	22,182	441	28,692	6,301	28,327	606	25,224
4. 橋梁	2,409	17	131	2,557	2,040	58	143	2,241	2,448	344	152	2,945	2,592	421	213	4,226
5. 溝橋伏樋	1,224	-	74	1,298	1,545	-	81	1,626	1,752	-	82	1,834	1,825	-	120	1,945
6. 停車場	1,026	23,923	779	25,728	1,226	17,322	383	19,517	1,470	20,150	922	22,542	1,521	25,229	1,290	28,050
7. 器械場	158	1,145	210	1,513	199	1,117	242	1,558	226	1,789	256	2,271	225	1,458	250	2,043
8. 電気通信信号	434	9,929	466	10,829	548	10,580	504	11,632	622	11,448	517	12,587	648	12,098	672	13,428
9. 柵垣等	119	-	40	159	150	-	44	194	169	-	45	214	177	-	60	237
10. 用具	276	-	135	411	247	-	242	489	276	-	226	502	412	-	401	812
11. 線路改良	-	12,654	-	12,654	-	8,337	-	8,337	-	8,878	-	8,628	-	9,288	-	9,288
B. 諸建物	947	2,288	478	4,713	1,196	2,454	541	4,191	1,257	2,852	575	4,785	1,412	3,571	788	5,771
C. 総係費	4,010	2,426	6	6,442	5,241	7,523	6	12,770	6,122	6,757	6	12,885	5,631	6,192	9	11,832
2. 土地の交通費	5,685	-	-	5,685	7,176	-	-	7,176	8,160	-	-	8,160	-	-	-	8,160
C. の小計	9,695	2,426	6	12,127	12,417	7,523	6	20,096	14,282	6,757	6	21,075	14,111	6,192	9	20,312
合計	40,644	25,225	3,872	69,741	51,587	72,127	4,092	128,806	58,821	74,212	4,279	137,312	60,277	86,525	5,226	152,878
D. 車輛	1,226	40,263	1,251	42,740	2,117	27,814	1,221	31,152	1,795	29,926	1,222	42,653	1,528	46,565	1,709	51,802
2. 復興費	-	19,601	-	19,601	-	29,277	-	29,277	-	4,459	-	4,459	-	-	-	-
3. 土地の資本	-	240	122	362	-	2,212	627	2,839	-	2,485	664	3,069	-	5,253	220	6,172
E. 用地	2,842	-	74	2,916	3,588	-	27	3,615	4,070	-	121	4,191	4,240	-	188	4,428
統計	44,722	145,409	5,185	195,316	57,292	122,641	6,212	186,145	64,496	121,013	6,386	191,895	68,045	138,513	8,543	215,101
(統計-車輛-総係)	29,476	-	-	29,476	49,224	-	-	49,224	56,529	-	-	56,529	58,886	-	-	58,886

注1) 費目A.12(軌条交換)及びE.2(補償費)は該当なし。

2) 推計方法 1) 建設費 表2-4及び2-8に示された設計に、表3-4の構成比を乗じた。

2) 改良費 1916-25年は表3-5より、1907-15年は表2-8より得られた設計に、表3-6の構成比を乗じた。

3) 補充費 表2-4及び2-8に示された設計に、表3-7の構成比を乗じた。

表3-9 建設改良補充費推計結果 1907~25年(773)

單位 1000円

決算科目 年度	1921年				1920				1919				1918			
	大正10年				9				8				7			
	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計
A. 土 工	12,289	-	1,197	14,486	12,398	-	656	14,054	8,202	-	224	8,527	3,241	-	1,908	5,749
1. 土 工	11,974	-	91	12,065	11,299	-	52	11,352	6,918	-	25	6,943	2,239	-	1,465	2,384
2. 軌 道	6,761	26,121	602	33,484	6,241	22,822	228	29,291	4,249	17,548	162	21,959	1,989	11,401	254	14,424
3. 橋 梁	2,521	247	215	3,083	2,659	226	114	3,099	2,240	1,135	67	3,442	1,049	839	332	2,226
4. 溝橋、伏樋	1,720	-	116	1,836	2,152	-	66	2,218	1,212	-	22	1,234	617	-	122	810
5. 停車場	1,121	26,149	1,287	28,617	1,291	22,027	700	24,018	791	16,185	246	17,322	270	10,589	2,041	12,000
6. 倉庫、工場	-	2,780	247	3,027	54	221	128	353	22	2,255	95	2,372	15	1,153	655	1,723
7. 電気通信信号	426	2,690	660	3,776	277	9,581	246	10,104	221	5,860	162	6,243	108	2,975	220	4,611
8. 柵垣等	51	-	52	103	269	-	25	294	165	-	17	182	77	-	27	174
9. 用 具	-	-	255	255	-	-	166	166	-	-	72	72	-	-	262	262
10. 線路改良	-	10,265	-	10,265	-	2,689	-	2,689	-	6,517	-	6,517	-	4,264	-	4,264
B. 諸 建 物	1,222	2,702	784	4,708	1,345	2,267	429	4,041	223	2,342	213	2,555	226	1,522	1,244	2,163
C. 総 係 費	4,227	5,002	8	9,237	202	-	4	206	116	-	4	120	112	-	24	221
その他共通費	2,140	-	-	2,140	9,263	-	-	9,263	5,722	-	-	5,722	2,184	-	-	2,184
C. 小 計	12,067	5,002	8	17,077	9,565	-	4	9,570	5,843	-	4	5,847	2,797	-	24	2,821
合計	52,262	24,156	5,720	82,138	50,251	22,122	2,025	74,398	20,219	51,842	1,509	73,570	14,488	22,822	2,721	41,111
D. 車 輛	2,242	26,279	1,593	30,114	5,017	22,845	814	28,676	2,226	52,389	279	55,092	1,380	21,179	2,089	24,648
1. 復興費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. 新地へ資本	-	4,286	724	5,010	-	1,189	254	1,443	-	-	154	154	-	210	785	1,595
E. 用 地	2,592	-	206	2,798	2,669	-	122	2,791	2,240	-	65	2,305	1,049	-	411	1,460
合計	52,297	24,331	6,226	82,854	59,227	24,014	2,201	85,442	25,385	54,231	1,636	80,252	16,827	22,011	3,225	46,063
(総計-車輛-総係)	41,027	-	-	41,027	52,807	-	-	52,807	22,942	-	-	22,942	15,424	-	-	15,424

表3-9 建設改良補充費推計結果 1907~25年(77年)

單位 1000円

決算年度 科目	1917年 大正6年				1916 5				1915 4				1914 3			
	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計
A. 工 工	2,958	-	2,100	5,058	2,124	-	659	2,783	2,145	-	286	2,431	2,047	-	588	2,635
2. 土木工事	2,495	-	156	2,651	1,820	-	51	1,871	1,665	-	29	1,694	2,359	-	47	2,406
3. 軌 道	1,522	7,248	1,063	9,833	1,106	6,252	322	7,680	1,142	5,379	124	6,745	1,612	6,202	226	8,117
4. 橋 梁	802	7	276	1,085	582	-	114	697	764	-	67	831	1,284	-	104	1,388
5. 溝橋伏樋	475	-	207	682	243	-	13	256	212	-	26	238	561	-	57	618
6. 停車場	285	7,221	256	9,762	206	5,767	702	6,675	84	4,959	412	5,455	312	5,712	629	6,074
7. 器械場	12	651	602	1,265	8	678	129	815	225	442	112	789	12	467	172	662
8. 電気通信線	82	1,822	986	2,890	10	1,277	296	1,583	6	962	167	1,075	64	924	246	1,244
9. 柵垣等	59	-	124	183	43	-	32	75	42	-	12	54	115	-	30	145
10. 用 具	-	-	224	224	-	-	82	82	84	-	22	106	-	-	40	46
11. 線路改良	-	2,952	-	2,952	-	2,322	-	2,322	-	1,987	-	1,987	-	2,312	-	2,312
B. 諸 建 物	297	1,061	1,275	2,633	214	824	420	1,458	230	723	252	1,205	221	823	282	1,527
C. 総 係 費	24	-	29	53	78	-	16	94	92	-	7	99	112	-	14	113
2. 各地の共通費	2,067	-	-	2,067	1,492	-	-	1,492	1,684	-	-	1,684	2,397	-	-	2,397
C. 小 計	2,151	-	29	2,180	1,570	-	16	1,586	1,777	-	7	1,784	2,509	-	14	2,523
合計	11,156	21,842	9,595	42,593	8,067	16,921	2,962	28,016	8,482	14,452	1,721	24,655	22,019	16,451	2,602	41,072
D. 車 輛	406	5,124	2,152	7,682	399	4,476	628	5,493	570	5,420	242	6,232	2,441	5,557	427	8,405
2. 復興費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3. 各地の資本	-	142	729	871	-	122	192	314	-	201	95	296	-	222	114	410
E. 用 地	802	-	420	1,222	522	-	152	674	589	-	97	686	841	-	155	996
統計	12,870	27,618	12,966	53,454	9,049	21,579	3,247	34,875	9,601	20,072	2,256	31,929	16,301	22,230	3,262	41,823
(統計-車輛-総係)	11,880	-	-	42,593	8,570	-	-	34,381	9,011	19,652	2,249	31,680	16,189	22,216	3,248	41,712



表3-9 建設改良補充費推計結果 1907~25年(173)

單位 1000円

年度 科目	1913年 大正2年				1912 1				1911 明治44				1910 43			
	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計
A. 土 工	4,079	-	468	4,547	5,623	-	305	5,928	3,444	-	325	3,779	3,633	-	254	3,887
1. 土 工	2,157	-	27	2,184	4,353	-	15	4,368	2,666	-	29	2,695	2,706	-	10	2,716
2. 軌 道	2,168	6,529	226	8,923	2,928	9,205	202	12,426	2,239	9,092	205	11,537	2,261	5,049	221	7,641
3. 橋 梁	1,451	-	84	1,535	2,001	-	72	2,072	1,791	-	87	1,878	1,889	-	94	1,983
4. 溝橋伏樋	751	-	47	798	1,034	-	24	1,062	706	-	44	750	745	-	21	766
5. 停車場	427	6,022	502	6,961	582	8,592	245	9,525	758	8,381	321	9,460	799	4,657	416	5,822
6. 器械場	17	474	126	627	22	539	95	707	275	526	155	956	291	266	132	690
7. 電氣通信	85	813	188	1,086	118	1,024	126	1,278	120	760	127	1,017	127	345	126	598
8. 柵 垣 等	154	-	24	178	212	-	18	230	103	-	17	120	109	-	16	125
9. 用 具	-	-	21	21	-	-	-	-	103	-	-	103	109	-	-	109
10. 線路改良	-	2,440	-	2,440	-	3,463	-	3,463	-	3,392	-	3,392	-	1,866	-	1,866
B. 諸 建 物	444	881	306	1,631	612	1,241	216	2,169	758	1,222	165	2,145	799	674	128	1,601
C. 総 係 費	121	-	8	129	144	-	-	144	117	-	-	117	108	-	-	108
1. 土地入費	2,209	-	-	2,209	4,423	-	-	4,423	2,738	-	-	2,738	2,888	-	-	2,888
C. 小 計	3,330	-	8	3,338	4,567	-	-	4,567	2,855	-	-	2,855	2,996	-	-	2,996
合計	16,062	17,169	2,057	35,288	22,119	24,184	1,599	47,902	15,718	23,320	1,505	40,613	16,564	12,857	1,449	26,870
D. 車 輛	1,488	5,196	264	7,058	4,561	6,514	342	11,417	2,626	5,555	225	8,406	476	2,665	128	3,269
1. 復 理 費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. 土地入費	-	226	68	294	-	210	28	238	-	292	27	219	157	7	164	
E. 用 地	1,125	-	128	1,253	1,552	-	151	1,704	1,612	-	38	1,707	1,707	-	74	1,781
總 計	18,686	22,591	2,617	43,894	28,232	31,218	2,061	61,511	19,963	29,237	1,848	51,048	18,747	15,679	1,652	36,084
(總計-車輛-總係)	17,067	-	-	17,067	23,671	-	-	23,671	17,348	-	-	17,348	18,163	-	-	18,163

表3-9 建設改良補充費推計結果 1907~25年(175)

單位 1000円

年度 科目	1909年 明治42年				1908 41				1907 40			
	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計	建設費	改良費	補充費	計
A. 上 工	4,265	-	409	4,674	5,829	-	298	6,127	2,718	-	287	2,005
1. トンネル	2,028	-	26	2,054	2,860	-	12	2,872	2,025	-	18	2,043
2. 軌道	2,642	1,741	292	4,675	2,495	5,836	212	8,543	1,767	2,077	205	4,049
4. 橋梁	2,114	-	117	2,231	1,996	-	85	2,081	1,413	-	82	1,495
5. 溝橋伏樋	822	-	48	870	787	-	25	812	557	-	34	591
6. 停車場	894	1,200	498	2,592	844	2,350	262	4,556	598	1,218	350	2,166
7. 器械場	225	84	176	485	387	159	128	674	217	88	123	428
8. 電氣通信器	142	87	183	412	134	116	123	373	95	35	128	258
9. 柵垣等	122	-	23	145	115	-	17	132	92	-	16	108
10. 用具	122	-	-	122	115	-	-	115	81	-	-	81
11. 線路改良	-	845	-	845	-	242	-	242	-	768	-	768
B. 諸運物	824	236	282	1,342	845	486	205	1,536	595	278	188	1,061
C. 総係費	84	-	-	84	114	-	-	114	113	-	-	113
1. 土地の共通費	2,222	-	-	2,222	2,052	-	-	2,052	2,161	-	-	2,161
2. 小計	2,222	-	-	2,222	2,166	-	-	2,166	2,274	-	-	2,274
合計	12,499	4,405	2,854	19,758	17,502	9,089	1,494	28,085	12,425	5,162	1,641	19,028
D. 1. 車軸	543	282	228	1,053	2,746	1,274	221	4,241	2,068	645	222	2,935
2. 復働費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3. 土地の資本	-	52	22	74	-	106	20	126	-	59	20	79
E. 1. 用地	1,911	-	142	2,053	1,804	-	104	1,908	1,177	-	100	1,277
合計	21,253	5,245	2,842	29,340	22,052	10,469	1,849	34,370	15,720	5,966	1,754	23,440
(総計-車軸-総係)	20,224	-	-	20,224	19,193	-	-	19,193	13,539	-	-	13,539

表3-10 国鉄建設費内訳推計結果, 1870~90年

単位 1000円

年度 費目	1890年 資本ストック 構成比 %	1890年													
		明治23年	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
A. 工 工	17.8	199	517	1,070	294	414	234	120	149	114	83	110	50	11	
1 隘 道	7.4	85	221	458	382	177	100	55	64	49	36	47	21	5	
2 軌 道	15.8	151	472	977	817	379	214	118	136	104	76	101	46	10	
4 橋 梁	22.5	258	672	1,392	1,183	539	305	169	183	148	109	143	66	14	
5 溝橋伏樋	4.0	46	119	247	207	96	54	30	34	26	19	26	12	3	
6 停車場	5.1	59	152	315	264	122	69	38	44	34	25	33	15	3	
7 器械場	2.1	24	63	130	109	50	28	16	18	14	10	13	6	1	
8 電気通信	0.2	2	6	12	10	5	3	2	2	1	1	1	1	...	
9 柵 等	0.5	6	15	31	26	12	7	4	4	3	2	3	1	...	
10 用 具	0.6	7	18	37	31	14	8	5	5	4	3	4	2	...	
B. 築 建 切	1.1	12	33	68	57	26	15	8	9	7	5	7	3	1	
C. 安 通 管	7.2	83	215	445	372	173	98	54	62	47	35	46	21	5	
D. 車 輛	11.2	125	334	693	579	268	152	84	96	74	54	71	33	7	
2 2. 地 資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E. 用 地	5.0	57	149	309	258	120	68	37	43	33	24	32	15	3	
総 計	100.0	149	2,926	6,185	5,188	2,395	1,355	750	859	658	482	637	292	63	

注 推計方法 表2-9より得られた各年度建設費支出総額に、1890年の資本ストックの構成比(本表才1欄)を一律に乗じて推計した。

表3-10 国鉄建設費内訳推計結果 1870~90年(つゞき)  
 単位 1000円

年度 費目	1877年	76	75	74	73	72	71	70
	明治10年	9	8	7	6	5	4	3
A. 上 工	27	112	165	521	422	245	206	86
1. 隧 道	12	42	71	223	185	105	88	37
2. 軌 道	25	102	51	476	195	223	188	78
3. 橋 梁	36	145	215	678	582	218	267	111
4. 溝橋、伏樋	6	21	32	120	100	57	48	20
5. 停車場	2	22	49	154	128	72	61	25
6. 器械場	3	14	20	62	53	30	25	10
7. 電気通信	1	2	6	5	2	2	2	1
8. 柵 算	1	3	5	15	13	7	6	3
9. 用 具	1	4	6	12	15	8	7	4
B. 諸 運 物	2	7	11	22	22	16	13	5
C. 共 通 費	11	47	69	217	180	102	86	26
D. 車 輛	18	72	107	327	281	152	133	55
1. 土地、資本	-	-	-	-	-	-	-	-
E. 用 地	8	22	42	151	125	71	60	25
総 計	152	646	957	2,012	2,501	1,415	1,120	495

表4-1 国鉄に買収された私鉄の建設費買収額等 (1906年, 07年 明治39年, 40年)

会社名	解散 (買収) 年・月・日	国鉄の承継哩程			解散当時の資本勘定 における建設費 (千円)			国鉄 承継 建設費(千円)	国鉄の買収額査定 (千円)				承継 人員数	
		開業区間		未開業 哩程	開業	未開業	計		鉄道の方		貯蔵品	兼業 その他		総額 (公債交付額)
		哩程	延長						建設費	建設費/平均哩程				
北海道炭鉱	明治39.10.1	207.51	291.77	-	12,151	-	12,151	12,163	30,278	(.1249)	508	111	30,997	3,673
甲武	"	27.65	45.16	0.69	2,929	599	4,528	4,946	14,371	(.1453)	228	-	14,600	990
日本	" 39.11.1	860.35	1,118.55	-	56,324	-	56,324	55,112	127,870	(.1257)	4,775	78	142,524	13,470
岩越	"	49.26	56.67	62.24	2,609	120	2,729	2,729	2,521	-	-	-	2,422	266
山陽	" 39.12.1	418.23	548.16	18.25	28,206	-	28,206	28,275	78,689	(.1070)	161	1,567	76,639	8,792
西武	"	4.44	12.06	-	1,753	-	1,753	1,751	1,705	-	-	420	1,847	1
小計		1,568.14	2,072.77	82.08	115,684	719	116,403	114,976	265,234		5,773	2,226	269,029	27,195
九州	40.7.1	446.02	679.25	49.25	58,167	1,219	59,386	59,445	116,345	(.1010)	2,512	-	118,598	15,853
北海道	"	158.77	179.01	-	10,871	-	10,871	11,265	11,365	-	87	-	6,122	1,204
京都	" 40.8.1	22.16	28.77	-	3,452	-	3,452	3,458	2,380	-	1	-	3,096	266
阪鶴	"	70.11	84.25	-	6,608	-	6,609	6,933	6,928	-	82	580	4,284	1,134
北越	"	85.65	102.26	15.69	7,257	2	7,259	7,207	7,247	-	29	-	3,722	924
総武	" 40.9.1	72.16	96.76	1.57	6,169	-	6,169	6,169	12,871	(.1044)	-	-	12,406	1,064
房総	"	39.22	48.35	-	2,090	-	2,090	2,215	2,135	-	22	-	960	290
七尾	"	24.27	28.25	-	1,522	-	1,522	1,522	1,490	-	1	-	994	243
徳島	"	21.29	26.70	-	1,222	-	1,222	1,222	1,210	-	21	-	697	197
関西	" 40.10.1	280.72	257.44	18.24	28,925	55	28,980	24,892	26,130	(.0726)	-	-	30,428	4,651
参宮	"	26.10	21.70	12.48	2,759	8	2,767	2,809	5,536	(.0291)	190	-	5,729	398
小計		1,258.47	1,622.64	97.62	129,166	1,284	130,450	126,658	205,197		2,958	580	187,166	21,214
合計		2,826.61	3,747.61	180.71	244,850	2,003	246,853	241,634	470,431		8,732	2,806	456,195	48,409

注 買収額算定原則 1) 明治39年下期から38年上期の6期間における建設費に対する平均益金(=6期間の末の益金の単純累計を各期末の建設費の単純累計)と解散日における認定建設費に乘じて之を以て額とす。  
 2) 上記の算定法によつて金額が解散日の建設費に及ばない場合は、之を明治39年下期以降に建設された私鉄の建設費の範囲内において会社と協議して決定する。  
 2. 買収総額は [建設費の買収額 + 貯蔵品の買収額 + 兼業等の買収額] から [承継借入金 + 補修費 + 改造必要額] を控除した金額

資料 「鉄道局年報」明治39.40年、逓信省「鉄道国有化始末一斑」(明治42年)

表4-2 国鉄に買収された私鉄 1908~1936年

年度	買収された 鉄道名	哩程km 料程	延長 (哩km料)	買収額 (千円)	建設費 (千円)	注	年度	買収された 鉄道名	哩程km 料程	延長 (哩km料)	買収額 (千円)	建設費 (千円)	注
1908~16 (明治41~大正5年)	なし						昭和8年	芸備	21.80		7,609	1,989	
1917大正6年	阿波国同	6.77	9.22	45.97	838		"	阿波	28.54		1,744	957	
"	横浜	27.20	31.57		3,201		"	宇和島	25.89		1,127	886	
"	宮崎県管(部)	17.49	21.30(推計)		714	宮崎県管及び宮崎・川口の間	"	両備	22.07		1,426	2,199	
大正7年	足尾	27.46	33.74	1,800	2,853		"	愛媛	26.07		2,026	1,207	
"	有馬	7.45	7.45	385	387	大正8年の国鉄経理に	"	(崩山鉄道)			補償費 773)		
大正8年	仙北	17.40	19.22	968	533		昭和9年	秋田	37.48		1,919	2,192	
大正9年	美禰軽便	3.35	4.60	?	183		"	新宮	15.83		2,434	1,081	
"	成田	45.06	52.63	12,833	2,761	} 大正10年の国鉄経理に	"	藤上	21.22		1,505	1,326	
"	中越	31.21	37.79				2,481		"	佐久	30.76		2,288
大正10年	なし						"	(播磨)			補償費 572)		
大正11年	魚沼	8.09	?	1,104	327		昭和10年	大隅	21.38		1,083	519	
"	大湯	20.16	?		?		"	宮崎県管	1.68		246	143	
大正12年	岩北			補償費 209		内容未詳	"	(札幌軌道)			補償費 105)		
大正13年	なし						"	(矢作水ヶ軌道)			補償費 118)		
大正14年	長州	14.48	16.37	1,773	766		昭和11年	阿南	16.42		687	750	
"	(沼田&中国)			補償費 650)		内容未詳	"	広浜	13.80		1,439	1,616	
昭和1年	東濃	7.22		695	?	一部のみ	"	岩手軽便	65.48		1,627	1,853	
昭和2年	陸奥	21.72	25.69 (25.77)	3,347	1,073		"	佐世保	26.24		4,923	2,901	
"	苫小牧軽便	40.88	41.41 (34.04)	2,722	605		"	(江当軌道)			補償費 42)		
"	日高拓植	27.56	44.88 (27.71)	1,225	1,067								
"	越後	206.20	119.78 (74.03)	12,410	7,403	} 昭和3年の国鉄経理に							
"	水戸	32.77	39.72 (14.46)	3,364	966								
昭和3年	なし					内容未詳							
昭和4年	(山口県管軌道)			補償費 8,861)									
昭和5年	なし												
昭和6年	(総武軌道)			補償費 133)		内容未詳							
昭和7年	(利根軌道)			補償費 229)									

注. 1) 軌道哩程及び延長は、原資料の通り。1908年~26年は哩・鎧、  
1927年以降はKm。  
2) 1932年(昭和7年)以後、軌道延長料数は得られない。  
3) 右年の「固定財産増減表」及び「累年表」などに示された「補償費」  
の意味は不明。  
4) O印をつけた鉄道名は次の国鉄経理に計上されている。

表4-3 買収された私鉄の建設費、ストック表(1894-1906) 単位1000円

年度	1906年	1905	1904	1903	1902	1901	1900	1899	1898	1897	1896	1895
目	明治39年	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
1. 線路測量費	6.17	9.41	9.26	9.15	8.75	7.82	7.21	6.90	6.42	4.71	3.66	3.27
2. 工事監督費	2.241	4.227	4.220	3.764	3.441	3.228	3.062	2.839	2.601	1.959	1.341	1.079
3. 総係費	6.228	8.927	8.677	8.311	7.868	7.461	6.582	6.349	5.856	3.356	1.750	1.948
3-1. 停給米費指給請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4. 用材費	12.450	21.236	20.572	19.462	16.899	16.393	14.949	12.997	11.829	9.585	6.690	4.891
5. 土工費	16.410	31.458	30.490	29.301	27.179	26.122	24.365	23.091	21.228	16.475	10.453	7.950
6. 橋梁費	10.645	21.751	21.218	20.474	19.920	19.649	18.634	17.928	17.020	14.178	10.862	9.408
7. 溝橋費	3.250	4.957	4.855	4.678	4.507	4.420	4.107	4.014	3.894	2.971	1.986	1.604
8. 穴掘費	5.24	1.020	1.004	9.69	9.63	9.20	8.75	8.40	7.70	6.15	4.35	3.34
9. 隧道費	6.412	10.924	10.836	10.349	9.926	9.652	8.558	8.419	7.811	5.086	2.639	2.085
10. 軌道費	16.172	22.896	31.923	29.956	27.624	27.136	24.205	23.502	21.922	16.536	11.955	9.839
11. 停車場費	4.241	10.172	9.246	8.649	7.662	6.966	5.875	5.114	4.745	3.561	1.973	1.615
12. 波止費	5.95	6.03	6.23	4.78	3.23	2.73	1.65	4.02	6.27	1.42	2.6	2.6
13. 車輛費	21.941	44.529	40.772	38.382	35.824	33.137	29.807	27.465	22.528	16.246	9.040	7.396
14. 器械場費	1.412	3.292	3.622	3.444	3.334	3.271	2.489	2.370	2.092	1.543	2.25	5.56
15. 造建物費	1.159	3.180	3.052	2.861	2.665	2.362	2.098	1.854	1.726	1.157	7.14	5.91
16. 運送費	1.765	3.036	2.991	2.549	2.944	2.802	2.280	2.729	2.594	2.062	1.332	1.123
17. 建築用汽車費	4.97	9.69	9.56	9.22	9.02	8.62	8.11	7.22	6.23	4.85	3.39	3.10
18. 建築用具費	3.01	6.24	6.22	5.36	5.16	4.89	4.05	4.81	4.37	3.62	2.52	1.95
19. 棚直及境用積費	1.37	2.70	2.56	2.44	2.30	2.17	1.79	1.63	2.44	1.03	1.45	0.62
20. 電信設備材料費	4.25	1.822	8.47	8.09	7.29	6.68	5.79	6.06	4.62	4.70	2.71	2.25
21. その他	13.289	19.919	20.846	16.110	10.787	10.637	9.268	1.819	5.41	1.715	3.39	3.5
買収費	13.289	16.637	16.926	-	-	-	9.224	1.628	3.14	1.628	3.14	-
補償費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1.00	2.222	2.910	-	-	-	4.4	1.92	2.27	8.7	2.5	3.5
計	121.816	227.105	218.276	201.662	184.243	176.403	161.223	144.385	129.519	98.284	64.084	51.528

注1) 明治39年の数字は明治40年に買収された九州、北海道、京都、阪鶴、北越、総武、房総、七尾、徳島、関西各線の各鉄道の合計、それ以前の合計にはそれ以外に明治39年に買収された北海道炭鉄、甲武、日本、岩越、山陽、西成の各鉄道を含み

2) 但し北海道は明治36年以後の岩越、西成、七尾、北海道炭鉄は明治31年以後の、京都、北越は明治30年以後の、房総、阪鶴は明治29年以後のストック合計に現われる